

授業科目、担当者（実務経験のある教員等を含む）及び時間数の一覧

2020年度

学校名	国際ペット専門学校金沢
学科名	ペット総合学科（1年）

区分	科目名	教員名	実務経験の有無	1年次	2年次	合計（単位時間）	
授 業 科 目 及 び 授 業 時 間 数 表 （ 1 年 生 ）	共通 1 年 生	グルーミング実習Ⅰ	藤田	○	240		240
		グルーミング理論Ⅰ	藤田	○	30		30
		家庭動物管理学	小西	○	30		30
		動物看護基礎学Ⅰ	久木	○	30		30
		犬のしつけ学基礎	小西	○	30		30
		伴侶動物学	横山	○	60		60
		動物内科看護学実習Ⅰ	中村	○	30		30
		動物臨床栄養学	横山	○	30		30
		繁殖学	久木	○	30		30
		犬学	小西	○	60		60
		社会人基礎力	西田		30		30
		トリマー 1 年 生 コ ー ス	グルーミング実習Ⅰ	藤田	○	360	
	問題行動学(トリマーコース共通)		小西	○	30		30
	グルーミング理論Ⅰ(トリマーコース共通)		宮腰	○	30		30
	接客ロールプレイング		藤田		30		30
	動物 看護 1 年 生 コ ー ス	グルーミング実習Ⅰ	藤田	○	120		120
		動物内科看護学実習Ⅱ	中村	○	30		30
		動物病理学	岡田	○	30		30
		動物形態機能学Ⅰ	中村	○	60		60
		動物形態機能学実習	中村	○	60		60
		動物福祉・倫理	清水	○	30		30
		人間動物関係学	清水	○	30		30
		動物臨床栄養学	横山	○	30		30
		動物感染症学	中山	○	90		90
		統一試験対策	中村	○	30		30
	トレ ナ ー 1 年 生 コ ー ス	グルーミング実習Ⅰ	藤田	○	240		240
		トレーニング実習	小西	○	120		120
		グルーミング理論Ⅰ(トリマーコース共通)	宮腰	○	30		30
		問題行動学(トリマーコース共通)	小西	○	30		30
		繁殖学Ⅱ	西川	○	30		30
		接客ロールプレイング	村牧		30		30
	小 計（単位時間）		トリマー		1050		1050
			看護		1110		1110
トレーナー			1080		1080		

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
グルーミング実習 I		ペット総合学科/1年	2020年/前期	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	120回	240単位時間	必須	藤田 恵理
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> ・日本動物専門学校協会認定トリマー3級ライセンス取得 ・90分以内に爪切り、クリッピング作業、ブラッシング、耳掃除、シャンプー、ドライイング、肢周りカットを終われるような知識・技術を身につける 				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・日本動物専門学校協会認定トリマー3級ライセンス取得 ・90分以内に爪切り、クリッピング作業、ブラッシング、耳掃除、シャンプー、ドライイング、肢周りカットを終われるような知識・技術を身につける 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		トリマーとしてペットショップに勤務		
時間外に必要な学修				
自宅でのシザーリング練習				
日	テーマ	内容		
1~2	道具の配布、道具確認、道具説明	初めてなので、道具一式のセット内容の確認と各道具の使い方を知る。ハサミの持ち方、動かし方の説明を行い、シザーリングを理解する。		
3~4	実習室の使い方、基本的な犬の扱い方（保定方法）、爪切り、耳掃除	実習室の使い方や掃除の行い方、リードの使い方の説明 人形を使っての犬の保定の行い方、パスタを使用しての爪切りの行い方、カンシ（耳掃除に使用）の使い方を知る。		
5~6	シャンプーの種類とゲージからの犬の出し入れの注意点	実際に犬を使っての犬舎への出し入れの練習、シャンプーの使い分けの説明 時間が余れば保定練習を実施する。		
7~8	ウィッグを使用したブラッシング、コーミング、シザーリング練習	ウィッグを使用してブラッシング、コーミングの練習（手の動かし方、道具の持ち方など） シザーリング練習も実施する。		
9~10	ウィッグを使用したブラッシング、コーミング、シャンプー、ドライイング、シザーリング練習	ウィッグを使用してブラッシング、コーミング、シャンプー、ドライイングの練習（反復練習）シザーリング練習も実施する。		
11~12	ウィッグを使っての振り返り練習	2組に分け、1組はドライイングまでの試験、残りは反復練習を実施する。（試験は時間は決めずに作業がきちんと行われているかを判断基準とする）		
13~14	実際にモデル犬を使っての爪切り、耳掃除、ブラッシング、シャンプー、ドライイング	実際にモデル犬を使っての総合演習を行う（犬を扱うのは初めてなので時間は決めずに作業を行っていく）		
15~16	ウィッグを使っての肢周りのカットの説明及びその実践	ウィッグを使って講師が肢周りカットの説明を行い、その後講師が実演を行い、それを基に学生が実践する。		
17~18	モデル犬を使ってグルーミング作業を時間を計りながら行う①	トリマー3級ライセンスに向けて90分という時間を意識しながらのグルーミング作業（自分がどの位全作業に時間をかけているのかを自覚する）		
19~20	モデル犬を使ってグルーミング作業を時間を計りながら行う②	先週の改善点を踏まえてどうしたら時間短縮に繋がるのかを考えながら作業を行っていき、120分以内を目標とさせる		
21~22	モデル犬を使ってグルーミング作業を時間を計りながら行う③	先週の改善点をさらに踏み込んで、どうしたら時間短縮に繋がるのかを考えながら作業を行っていき、100分以内を目標とさせる		

日	テ ー マ	内 容		
23～ 24	モデル犬を使ってグルーミング作業を時間を計りながら行う④	3回の実習を踏まえて、最終的なまとめとして作業をどう行えば時間短縮に繋がるのかを考えながら作業を行っていき、90分以内を目標とさせる		
25～ 26	ライセンス担当犬を使っての模擬試験	2グループに分け、1組はグルーミング実習を行い、残りのグループが90分以内での作業終了を目指す 別日にもうひとグループが同様に模擬試験を実施する。		
27～ 28	模擬試験の振り返り、体バリカン	模擬試験の結果を踏まえて各自の反省点を洗いだし、合格を目指し実習を実施する。 全身カットの最初の段階である体バリカンを始めていく		
29～ 30	時間短縮を意識したグルーミング体バリカン シザーリング練習	模擬試験での反省点を各自自覚できたはずなので、それを踏まえて時間短縮を意識してグルーミングを実施する。 体バリカンのラインを左右対称を意識 余裕のある学生はシザーリング練習		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
疑似毛（ウィッグ） ドッググルーミングマニュアル （ジャパンケネルクラブ）		期末試験 授業態度	70.0% 30.0%	

*1日4回(8単位時間)

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
グルーミング理論 I		ペット総合学科/1年	2020/前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	藤田 恵理
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> ・犬の扱い方を理解し、各道具の使用法・注意点を把握することで、グルーミング実習時に安全でスムーズな作業が出来るようになる。また、グルーミングの目的・各作業の目的を学び、その必要性を理解する。 ・グルーミング作業時に起こりやすい事故について理解し、応急処置の方法を身につける。 				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・グルーミング、トリミングとは何かを理解する。 ・グルーミング、トリミング時に使用する道具の種類、使用方法、注意点、犬の扱い方を理解する。 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		トリマーとして、ペットショップに勤務。		
時間外に必要な学修				
授業の前後に予習復習をして、授業の習熟を図ること				
回	テーマ	内容		
1	グルーミング理論 I についての説明 グルーミングとは何か	授業内容、取得を目指すライセンスについて解説する。 グルーミングの目的、意義、心構え、必要性を学ぶ。		
2	犬体各部の名称について	犬体名称、骨格、咬み合わせを理解する。		
3	健康の確認 (バイタルサインについて) 骨格・犬体名称・咬合小テスト	健康な犬の状態を把握する。そのために、バイタルサインの測定方法、平均値を理解する。 トリミングに必要な各部名称なので、復習テストを実施し、しっかり覚える。		
4	グルーミングについて①	爪切り・耳掃除・ブラッシング・コーミングについて、各作業の目的・道具の使い方・注意点などを理解する。		
5	グルーミングについて②	クリッピング（足裏・肛門・お腹）の目的・クリッパーの使い方・注意点を理解する。 ハサミの各部名称と種類を学ぶ。		
6	グルーミングについて③	ペイジング（肛門腺含む）の目的・注意点を学ぶ。 シャンピングについて、目的・手順・注意点を学ぶ。		
7	グルーミングについて④	リンシング・タウエリングについて、目的・手順・注意点を学ぶ。		
8	グルーミングについて⑤	ドライングについて、目的・手順・注意点を学ぶ。 足回りカットの手順と犬種別・カットスタイル別の作り方を学ぶ。		
9	グルーミング作業に関する復習テスト	爪切り～足回りカットまでの一連の作業について、その目的や注意点などの復習テストの実施。		

回	テ ー マ	内 容		
10	グルーミング中に 起こりやすい事故①	クリッパー、ハサミ、鉗子、耳の保定による事故、やけど（低温やけど含む）がどのような場合に起こりやすいのか、またその応急処置を学ぶ。		
11	グルーミング中に 起こりやすい事故②	脱臼、骨折、下顎骨折、熱中症について、どのような場合に起こるのか、またその応急処置を学ぶ		
12	グルーミング中に 起こりやすい事故③	眼球脱臼、眼球の傷、結膜炎、けいれんについて、どのような場合に起こるのか、またその応急処置を学ぶ。		
13	グルーミング中に 起こりやすい事故④	呼吸困難、意識不明、ショック状態はどのような場合に起こるのか、またその応急処置を学ぶ。		
14	NAVAトリマー3級ライセンス 筆記試験対策①	筆記試験対策プリントの実施（基礎編）と解説		
15	NAVAトリマー3級ライセンス 筆記試験対策②	筆記試験対策プリントの実施（応用編）と解説		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
最新ドッググルーミングマニュアル （社団法人 ジャパンケネルクラブ） グルーミングの基礎 （株式会社 インターズー）		期末試験 授業態度	70.0% 30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
家庭動物管理学		ペット総合学科/1年	2020/前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	小西 伴彦
授業の概要				
<p>ペットショップで働くために必要な動物に関連している法規や健康管理などのケアについての専門的な知識や職業倫理、ペットを扱う専門家として必要な知識、社会における動物を取り扱う者の責任と役割を理解する。</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>動物取扱業者として社会背景の変化に柔軟に対応し、ペットが果たす役割の重要性を理解し、飼養者とペットとのよりよい関係づくりに尽力できる人材として、人と動物の共生社会実現に資するための知識として、動物の管理や関連する様々な法規を理解し、法規ごとに対応する業務や行為の範囲を理解している。</p>				
実務経験有無	実務経験内容			
有	①犬の訓練施設を開業 ②動物病院にてしつけ教室を開催 ③ふくい動物愛護管理支援センターに従事			
時間外に必要な学修				
テキストの読み込み、講義でのノートの復習				
回	テーマ	内容		
1	法規についての総論と概要	法規の概念を理解を進め、法規全般の学修のポイントを知る。 政令と省令。条例と規則。		
2	動物取扱業者の職業倫理	動物取扱業者として必要な職業倫理の内容を理解し学修する。		
3	動物愛護のための法律知識（動物愛護管理法）	動物の愛護及び管理に関する法律の全体像と飼い主責任の内容について理解を進め学修する。		
4	動物愛護のための法律知識（動物愛護管理法）	動物の愛護及び管理に関する法律の動物取扱業の内容について理解を進め学修する。		
5	トラブル予防に関する基礎知識	顧客とのトラブル予防や対処法について学び、法律との関連性を重要視しながら対応する方法を学修する		
6	動物に関する基礎知識	犬の特性、猫の特性について学び、適切な飼養方法、管理方法について学修する		
7	動物行動学の基礎	動物の行動の専門的な知識の習得とその行動特性について学修する		
8	適切な展示方法と衛生管理、血統書について	動物の展示方法とその衛生管理全般についての専門的な知識の習得と犬の血統書について学修する		
9	狂犬病予防法、家畜伝染病予防法	狂犬病予防法と家畜伝染病予防法の内容全体の理解を進め学修する。		

回	テ ー マ	内 容		
10	ペットフード安全法、飼料安全法、水産資源保護法	ペットフード安全法、飼料の安全性の確保および品質の改善に関する法律の理解し学修する。		
11	感染症法、と畜場法、食鳥検査法、食品衛生法	感染症法とその法律に関係する法規の内容全体を理解し学修する。		
12	身体障害者補助犬法、外来生物法、種の保存法、鳥獣保護管理法、	身体障害者補助犬法、外来生物法、種の保存法、鳥獣保護管理法に関連する法規全体を理解し学修する。		
13	国際条約（ワシントン条約、ラムサール条約）、廃棄物処理法	動物に関連する国際条約の概要を理解し学修する。 （ワシントン条約、ラムサール条約についての概要）		
14	家庭動物管理士概要	家庭動物管理士としての職業倫理、専門家としての意識を高める必要な知識を学修する		
15	家庭動物管理士総論	家庭動物管理士としての役割とペットショップの在り方について議論を交えながら、専門的な知識を学修する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
家庭動物管理士テキスト3級用（一般社団法人全国ペット協会） 動物看護の教科書第1巻（緑書房） 人と動物の関係1（ファームプレス）		期末試験 授業態度	70.0% 30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物看護基礎学Ⅰ		ペット総合学科/1年	2020/前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	久木 悠愛
授業の概要				
動物の健康管理に必要な知識や技術（体のつくりや各疾患の知識、正しい飼育方法など）を実際の流れに沿って紹介し、実践的な内容も解説しながら学修する。 ペットショップの販売の仕事内容や売り場管理の仕方を教科書の内容を検証する演習なども取り入れながら習得する。				
授業終了時の到達目標				
動物の健康管理についての正しい知識が身につく、飼い主に的確な指導やアドバイスができるようになる。 ペットショップにおける売り場管理の重要要素を説明することができる。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物看護師として、動物病院に勤務		
時間外に必要な学修				
各講義で実施した内容をノートなどを使用して復習する				
回	テーマ	学修内容		
1	動物の体のしくみと主な病気① 骨	骨の働きや構造、骨格、代表的な病気について理解する		
2	動物の体のしくみと主な病気② 感覚器（耳・眼）	耳の構造、音が聞こえる仕組み、体のバランスを取る仕組み、眼球の構造、代表的な病気について理解する		
3	動物の体のしくみと主な病気③ 循環器（心臓・血管）	循環器の働き、心臓の構造、代表的な病気について理解する		
4	動物の体のしくみと主な病気④ 呼吸器（咽喉頭・気管・肺）	呼吸の仕組み、代表的な呼吸器の病気について理解する		
5	動物の体のしくみと主な病気⑤ 消化器（胃腸）	消化器の働き、消化管の運動、代表的な病気について理解する		
6	動物の体のしくみと主な病気⑥ 膵臓	膵臓の構造、膵液とその働き、代表的な病気について理解する		
7	動物の体のしくみと主な病気⑦ 肝臓	肝臓の構造、胆汁の働き、代表的な病気について理解する		
8	動物の体のしくみと主な病気⑧ 泌尿器（腎臓・膀胱）	泌尿器の構造、代表的な病気について理解する		
9	動物の体のしくみと主な病気⑨ ホルモン	内分泌の器官、ホルモンの調節、代表的な病気について理解する		
10	動物の体のしくみと主な病気⑩ 脳・脊髄・神経	神経の働きや分類、脳・脊髄・末梢神経の仕組み、代表的な病気について理解する		
11	動物の体のしくみと主な病気⑪ リンパ・免疫	リンパ・白血球など免疫、代表的な病気について理解する		
12	動物の健康管理	日常の健康管理（口腔衛生、ワクチンで予防できる疾患）について理解する		
13	動物の衛生管理	ズノーシスなどの感染症とその予防について理解する		

回	テ ー マ	学修内容		
14	ペットショップの販売に関する基礎知識①	ペット販売の仕事とその流れ、ペットショップの売り場づくりを理解する		
15	ペットショップの販売に関する基礎知識②	商品別の販売ポイントを理解する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
NAVA動物看護の基礎 改訂版 インターズー		期末試験 授業態度	70.0% 30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
犬のしつけ学基礎		ペット総合学科/1年	2020/前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	小西 伴彦
授業の概要				
動物行動学の分野において犬猫の行動様式の基礎知識（例：維持行動、性行動、社会的問題行動）をテキストに沿って学習し、習得する				
授業終了時の到達目標				
・犬や猫の行動様式を学ぶことで人との共存生活を送る際の問題となる行動の原因や対処方法、予防方法の基礎知識となる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		①犬の訓練施設を開業 ②動物病院にてしつけ教室を開催 ③ふくい動物愛護管理支援センターに従事		
時間外に必要な学修				
各講義で実施した内容のノートを使用して復習すること				
回	テーマ	内容		
1	動物行動学の基礎	行動学の歴史と動物の家畜化について理解する 犬猫の周期性を理解する		
2	動物行動の基礎（犬の挨拶行動）	犬の特徴的な行動を読み解き、習性と学習の関係を理解する		
3	犬学（様々な犬種の特性）	犬種の作出と歴史を学び行動変化を理解する		
4	猫学	猫種の作出と歴史を学び行動変化を理解する		
5	行動の発現と機序	動物の行動に対する動機付けや神経伝達物質、精神的な心理状態における親和行動と攻撃行動について理解する		
6	発達ステージ（成長と学習）	発達ステージにおいて新生子期や移行期、社会期に現れる特徴的な行動や社会化を理解する		
7	発達ステージ（学習と行動の関連付け）	発達ステージにおいて若齢期や成熟期、高齢期に現れる特徴的な行動や社会化を理解する		
8	犬猫の維持行動	犬猫が維持行動として行う摂食・捕食行動、排泄や休息、グルーミング行動について理解する		
9	犬猫の性行動	犬猫の性行動におけるプロセスやメカニズムについて理解する		
10	しつけ・トレーニングの理論と応用	犬における馴化と感作を理解する		
11	しつけ・トレーニングの理論と応用	犬における古典的条件づけ・オペラント条件づけを理解する		
12	しつけ・トレーニングの理論と応用	犬猫において問題行動の定義・要因（遺伝的、生得的、環境）を理解する		
13	問題行動（基本的な考え方）	犬猫において問題行動の定義・要因（遺伝的、生得的、環境）を理解する		

回	テーマ	内 容		
14	問題行動(予防を考えた犬との生活)	犬猫が起こす問題行動に対する修正と予防法を理解する		
15	各論(トイレ・吠え・噛む)	犬猫で起こりうる問題行動についてまとめる		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・動物看護学教育標準カリキュラム準拠 専門分野 動物行動学 interzoo ・動物看護コアテキスト 動物の行動と健康管理 ファームプレス ・犬のしつけ学基礎と応用 interzoo 		期末試験 授業態度	70.0% 30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
伴侶動物学		ペット総合学科/1年	2020/前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	30回	60単位時間	必須	横山 歩
授業の概要				
人と綿密な関係を築く動物は伴侶動物と呼ばれ、本講義では人との関わりが古くからある猫や、飼育が一般化しつつあるウサギやハムスターなどのエキゾチックアニマルと呼ばれる伴侶動物についても学ぶ。伴侶動物の歴史や品種、生態だけでなく、各動物の解剖学的特徴や飼育環境を理解し、環境整備の方法を習得する。また、各動物の代表的な病気や予防に関する知識も併せて習得する。				
授業終了後の到達目標				
各動物の特徴、生態に関して正しい情報を理解している。 適切な飼育環境、食事について動物を飼育したことがない人にも説明ができる。 また、各動物の飼育上知っておくべき主要な病気やその予防法についても知識を有し、適切な接し方を伝えることができる。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物病院で動物看護師として、動物病院に勤務（現在に至る）。		
時間外に必要な学修				
各講義で実施した内容をノートなどを使用して復習すること				
回	テーマ	学修内容		
1	伴侶動物学について	伴侶動物の定義を理解する。		
2	猫の起源、猫の生理学	人と猫の歴史、猫の身体的特徴を学ぶ。		
3	猫の行動学	コミュニケーション方法、ボディランゲージ、鳴き声による行動を理解する。		
4	猫の生理学・感覚器①	猫の目、耳の特徴を学び生活における役割を学ぶ。		
5	猫の生理学・感覚器②	猫の鼻・ひげの特徴を学び生活における役割を学ぶ。		
6	猫の解剖生理	雄雌の違い、長毛短毛の違いを学び、それぞれの特徴や種類を学ぶ。		
7	猫の栄養学	猫の食性、必要栄養素、関係する疾患を学ぶ。		
8	猫の繁殖学	猫の繁殖、室内飼育の必要性、感染症を学ぶ。		
9	猫の解剖整理、しつけ	不妊手術の必要性、性ホルモンに関する問題行動、関係する疾患を学ぶ。		
10	猫の飼育方法①	トイレのしつけ、猫の求めるトイレ環境、排泄に関する習性および、問題を理解する。		
11	猫の飼育方法②	爪とぎのしつけ、猫の好む爪とぎを学び、環境整備の方法を理解する。		
12	猫の飼育方法③	猫のしつけに重要な社会化期に馴化させたいこと、その必要性を理解する。		
13	猫種の理解①	猫の種類を知る。毛色・体型などの特徴ごとの違いを学ぶ。		

回	テ ー マ	学修内容		
14	猫種の理解②	毛色、体型、原産国、などに絞って猫のレポートを作成し理解を深める。		
15	猫種の理解③	毛色、体型、原産国、などに絞って猫のレポートを作成し理解を深める。代表者の発表を行い、知識の共有を図る。		
16	エキゾチックアニマルの歴史と飼育状況	現在飼育されている主なエキゾチックアニマルの現状と動向を学び、社会における動物飼育の理解を深める。		
17	鳥類の解剖生理	家庭飼育されている主な鳥類の種類、それぞれの生態、解剖学的特徴、雄雌の鑑別を学ぶ。		
18	鳥類の飼育方法・疾病	鳥類の飼育環境の整備、食事管理の方法を学ぶ。鳥類の代表的な疾病と予防法を学ぶ。		
19	ウサギの解剖生理	ウサギの種類、生態、解剖学的特徴、雄雌の鑑別を学ぶ。		
20	ウサギの飼育方法・疾病	飼育環境の整備、食事管理を学ぶ。代表的な疾病と予防法を学ぶ。		
21	ハムスターの解剖生理	ハムスターの種類、生態、解剖学的特徴、雄雌の鑑別を学ぶ。		
22	ハムスターの飼育方法・疾病	ハムスターの飼育環境の整備、食事管理を学ぶ。ハムスターの代表的な疾病と予防法を学ぶ。		
23	モルモットの解剖生理	モルモットの種類、生態、解剖学的特徴、雄雌の鑑別を学ぶ。		
24	モルモットの飼育方法・疾病	モルモットの飼育環境の整備、食事管理を学ぶ。モルモットの代表的な疾病と予防法を学ぶ。		
25	フェレットの解剖生理	フェレットの種類、生態、解剖学的特徴、雄雌の鑑別を学ぶ。		
26	フェレットの飼育方法・疾病	フェレットの飼育環境の整備、食事管理を学ぶ。フェレットの代表的な疾病と予防法を学ぶ。		
27	ウサギ、ハムスター、フェレット、モルモット、小鳥のまとめ	それぞれの動物を解剖学的、飼育環境などを絞ってまとめ、一覧を作成して動物種ごとの違いを理解する。		
28	爬虫類	代表的な爬虫類の種類と飼育環境を理解する。注意すべき疾病と予防法を学ぶ。		
29	両生類	代表的な両生類の種類と飼育環境を理解する。注意すべき疾病と予防法を学ぶ。		
30	エキゾチックアニマルの理解度を上げる。	爬虫類、両生類の種類を調べ、一覧を作成し、飼育環境の違いや類似点を学ぶ。		
教科書・教材		成績評価の方法	評価率	その他
伴侶動物解剖生理学（緑書房） カラーアトラスエキゾチックアニマル爬虫類・両生類編（緑書房）		期末試験 授業態度	70.0% 30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物内科看護学実習 I		ペット総合学科/1年	2020/前期	講義演習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	中村 武文
授業の概要				
犬の日常的な健康管理や内科診療の補助に必要な基礎知識を学び、身体検査・保定などについて理解する。動物の基礎情報を収集し、診療補助から始まるトータルケアの看護知識と技術を学ぶ。				
授業終了時の到達目標				
犬の扱いを知り、一般的な飼養管理を行うための知識を身に付けることができる。 動物の身体的・精神的健康を理解し、観察力を身に付けるための基礎知識が理解できる。 基本的な保定法と身体検査を実践するための基礎知識が理解できる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物看護師として、動物病院に勤務		
時間外に必要な学修				
各講義で実施した内容をノートなどを使用して復習すること				
回	テーマ	内容		
1	動物を扱う際の心構え	身支度・環境整備・手洗いと手指消毒について学び、動物を扱う際の心構えを理解する		
2	実習に臨む前の心構え 犬の一般的な管理状態	動物を扱う際の身支度・手洗い・注意点、犬の飼育環境の整え方・衛生管理を理解する		
3	犬の一般的な管理方法	犬の飼育法(給餌・飼育環境・手入れ・運動・排泄等)と衛生管理・雌雄の特徴と注意点について理解する		
4	犬の身体的特徴と扱い方	正しい抱き方・犬舎やケージからの出し入れ・診察台への上げ下ろし等を安全に行う方法を身に付ける		
5	保定	保定の重要性・原則と注意点・基本保定法4種類について理解する		
6	基本保定	立位・座位の保定における基本スタイルを学び、犬種や大きさに応じた保定を身に付ける		
7	基本保定	横臥位、伏臥位における基本スタイルを学び、犬種や大きさに応じた保定を身に付ける		
8	基本保定	基本保定4種を動画に撮り、自己・他己評価を行い復習と改善をし、正しい保定法を再度理解する		
9	デンタルケア	歯周病のメカニズムを知り、動画で動物病院での口腔ケア、実践見学で家庭での口腔ケアを理解する		
10	一般身体検査	一般身体検査の4つの方法と頭部、体幹部、四肢の検査項目を学び、正常と異常を理解する。歩様や行動の正常と異常を理解する。		
11	バイタル	バイタルチェックとは何か・バイタルチェック項目を学び、正常値・異常値を理解する		
12	一般身体検査	基本的な一般身体検査を実践し、記録を付けて全身評価を行い、観察力を身に付ける		

回	テ ー マ	内 容		
13	バイタル	バイタルチェックを実践し、安全安楽に配慮しながら手技を身に付ける		
14	応急処置	動物の状態確認と事例別処置方法の学習。 外傷、止血法、熱傷の種類と対処法の理解。罨法の種類と効果について理解する。		
15	応急処置	動物の状態確認と事例別処置方法の学習。 骨折、熱中症、ショックの対処法とそれぞれの種類と効果について理解する。エマージェンシー対応のABCを理解する。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護実習テキスト(インターズー) 動物看護学テキスト(ファームプレス) 犬と猫の応急処置(インターズー) 輸液超入門(インターズー)		期末試験 態度点	70.0% 30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物臨床栄養学		ペット総合学科/1年	2020/前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	横山 歩
授業の概要				
犬・猫の健康管理に必要な栄養の基礎知識（例：六大栄養素の種類、犬猫の食性、ライフステージ、ペットフードに関する法律、犬猫に与えてはいけない食材 など）を習得する				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・六大栄養素の種類、構造、生理作用や犬猫の栄養特性、ライフステージを学修し、犬猫の栄養管理について説明できる ・ペットフードの歴史や種類、法律について説明できる ・健康状態、ライフステージ別のエネルギー要求量を理解し、要求量の算定ができる 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物病院で動物看護師として勤務（現在に至る）		
時間外に必要な学修				
各講義で実施した内容をノートなどを使用して復習する				
回	テーマ	内容		
1	なぜ栄養学を学ぶのか	動物により異なった栄養成分が必要な理由を、食性や体の構造の違いから学び、理解する		
2	エネルギー	食事のエネルギー量と動物のエネルギー要求量を理解し、1日当たりのエネルギー要求量の計算法を学修する		
3	六大栄養素（水）	水の役割、要求量を理解する		
4	六大栄養素（炭水化物）	炭水化物の種類や役割、犬猫における消化吸收を理解する		
5	六大栄養素（脂質）	脂肪の種類や役割、犬猫の必須脂肪酸、脂肪の劣化について理解する		
6	六大栄養素（タンパク質）	タンパク質の役割、犬猫の必須アミノ酸、タンパク質の過剰症と欠乏症を理解する		
7	六大栄養素（ビタミン）	ビタミンの種類や役割、犬猫におけるビタミンの過剰症と欠乏症を理解する		
8	六大栄養素（ミネラル）	ミネラルの種類や役割、犬猫におけるミネラルの過剰症と欠乏症を理解する		
9	食べてはいけない食品・成分	犬猫において摂取してはいけない食品（ネギ類、カカオ、キシリトール、人薬、ブドウ、アボカドなど）の摂取した場合の症状や特徴を理解する		
10	ペットフード学	ペットフードの歴史、フードの用途や種類、特徴などを理解する		
11	哺乳・離乳期での栄養管理	哺乳期・離乳期での犬猫の身体の特徴を学びこの時期に必要な栄養素や食餌管理の方法を学修し、理解する		
12	成長期での栄養管理	成長期での犬猫の身体の特徴、予防できる疾患（肥満など）を学修し、この時期に必要な栄養素や食餌管理の方法を理解する		

13	維持期での栄養管理	維持期での犬猫の身体の特徴、食餌で予防できる疾患（肥満、下部尿路疾患など）を学修し、この時期に必要な栄養素や栄養管理の方法を理解する		
14	妊娠・授乳期での栄養管理	妊娠・授乳期での犬猫の身体の特徴を学び、この時期に必要な栄養素や食餌管理の方法を理解する		
15	高齢期での栄養管理	高齢期での犬猫の身体の特徴、高齢期特有の食餌で予防できる疾患（腎臓疾患など）や栄養管理・食餌管理の方法を理解する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・動物看護学教育標準カリキュラム準拠 専門分野 動物栄養管理学（interzoo） ・動物看護師養成モデルカリキュラム専修学校準拠 動物栄養学（interzoo） ・犬と猫の栄養学（緑書房） 		<ul style="list-style-type: none"> 期末試験 授業態度 	<ul style="list-style-type: none"> 70.0% 30.0% 	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
繁殖学		ペット総合学科/1年	2020/前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	久木 悠愛
授業の概要				
犬猫における繁殖の基礎知識（例：雄雌性生殖器の構造の違い、発情の徴候や発情周期、遺伝学など）を学修し習得する。				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・犬猫を基本とし、繁殖の基礎知識（発情周期、交配様式、妊娠・出産の過程など）を学ぶことで繁殖をおこなう際の正しい知識となり飼い主様への確かなアドバイスができるようになる。 ・出産時において正しい助産や母体の管理、新生子の管理ができるようになる。 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		①動物病院で動物看護師として勤務（現在に至る）		
時間外に必要な学修				
各講義で実施した内容をノートなどを使用して復習する				
回	テーマ	学修内容		
1	繁殖ということ	犬猫での性成熟と繁殖生理を学修し理解する		
2	雄性生殖器①	雄犬猫の基本的な構造（陰嚢、精巣、副生殖器、外部生殖器など）を学修し理解する		
3	雄性生殖器②	雄犬猫の生殖器の異常による代表的な繁殖障害を学修し理解する		
4	雌性生殖器①	雌犬猫の基本的な構造（卵巣、子宮、膣など）を学修し理解する		
5	雌性生殖器②	雌犬猫の生殖器の異常による代表的な繁殖障害を学修し理解する		
6	性周期	発情徴候と発情、発情周期について学修し理解する		
7	排卵と交配①	自然排卵と交尾排卵についての基礎知識を学び交配適期と交配の関係を学修し理解する		
8	排卵と交配②	自然交配と人工授精を学び膣細胞の所見を学修し理解する		
9	妊娠	犬猫の妊娠における診断方法や期間、徴候などを学び偽妊娠について学修し理解する		
10	分娩①	犬猫の分娩過程と正常な分娩について学修し理解する		
11	分娩②	分娩の際に起こりうる難産や帝王切開時の助産、産後の母体管理について学修し理解する		
12	新生子管理①	条件の異なる新生子（母親がいる・いないなど）の管理の方法について学修し理解する		
13	新生子管理②	新生子に多い感染症（FIV、Felvなど）や代表的な疾患（潜在精巣、口蓋裂、齊ヘルニアなど）を学修し理解する		

14	遺伝学の基礎知識①	犬猫の性と遺伝、生殖の方法やメンデルの法則について学修し理解する		
15	遺伝学の基礎知識②	犬猫に多い代表的な遺伝性疾患（遺伝性骨形成異常症など）について学修し理解する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・基礎から学ぶ犬・猫の繁殖ハンドブック (interzoo) ・犬の繁殖と育児がわかる (誠文堂) ・動物看護の教科書第4巻 (緑書房) 		期末試験 授業態度	70.0% 30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
犬学		ペット総合学科/1年	2020/通年	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	30回	60単位時間	必須	小西 伴彦
授業の概要				
<p>一社法人ジャパンケネルクラブ(JKC)では、国際畜犬連盟(FCI)により公認された344犬種のうち、約200犬種を登録しております。全ての犬種には、繁殖指針とするための『犬種標準』が定められており、犬種標準(スタンダード)とは、各犬種の理想像を文章で書き表したものです。この授業では、犬種標準の概略を理解し、FCIで定められている犬種やJKCで決められている犬種を理解することで、各種の犬の扱いの違いを体得する。</p>				
到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・JKCに登録されている犬種のスタンダード(原産地、沿革と用途、一般外貌、性格、サイズ、正しい歯の噛み合わせ、被毛と毛色、歩き方、そして頭部、頸、ボディ、尾、四肢等)を説明できる知識を修得する。 ・さまざまな犬種のスタンダードに基づいて、トリミングが出来る知識を修得する。 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		<ul style="list-style-type: none"> ①犬の訓練施設を開業 ②動物病院にてしつけ教室を開催 ③ふくい動物愛護管理支援センターに従事 		
時間外に必要な学修				
犬種図鑑を読み、予習、復習をする。				
回	テーマ	内容		
1	FCI・JKCとは何か。純犬種の理解	純犬種が登録されている国際団体FCIとそれを受けての国内団体JKCの関係について学ぶ。		
2	JKC分類10グループ別の基準	JKCが国際畜犬連盟(FCI)の分類に従い、犬の「系統」を重視したFCIが定める分類方式を採用し、10グループに分類している理由を理解する。		
3	10グループ別犬種(1～5グループ)について	1G. 牧羊犬・牧畜犬、2G. 使役犬、3G. テリア、4G. ダックスフンド、5G. スピッツのグループの飼育用途、犬質、特徴の理解する		
4	10グループ別犬種(6～10グループ)について	6G. 嗅覚ハウンド、7G. ポインター、8G. 鳥獣犬、9G. 愛玩犬、10G. 視覚ハウンドの飼育用途、犬質、特徴の理解する		
5	骨格・歯・かみ合わせなど	骨格名称・歯数、歯の名称・かみ合わせの種類を理解する		
6	グループ表作成(1G-3G)	1G-3G犬種表をグループ名・用途・犬種・特長を整理して、一覧表を作製する。		
7	グループ表作成(4G-6G)	4G-6G犬種表をグループ名・用途・犬種・特長を整理して、一覧表を作製する。		
8	グループ表作成(7G-10G)	7G-10G犬種表をグループ名・用途・犬種・特長を整理して、一覧表を作製する。		
9	グループ表作成(1G-10G)	1G-10G犬種表を修正・訂正して一覧表を作製する。併せて、特徴などの説明ができるように、グループでの説明演習をする。		
10	血統証明書の見方、犬種標準(スタンダード)	実際のJKCスタンダードに沿って、各セクションに沿っての説明。純粋犬種の血統についても併せて考察する。		
11	第1グループ犬種のスタンダード	1グループの代表犬種(ウエルッシュ・コーギー)の沿革・外貌・サイズ・かみ合わせ・体の各部位のスタンダードで決められている項目を学修し、理解する		
12	第2グループ犬種のスタンダード	2グループの代表犬種(ドーベルマン)の沿革・外貌・サイズ・かみ合わせ・体の各部位のスタンダードで決められている項目を学修し、理解する。		

回	テーマ	内 容		
13	第3グループ犬種のスタンダード	3グループの代表犬種（テリア）の沿革・外貌・サイズ・かみ合わせ・体の各部位のスタンダードで決められている項目を学修し、理解する。		
14	第4グループ犬種のスタンダード	4グループの代表犬種（ダックスフンド）の沿革・外貌・サイズ・かみ合わせ・体の各部位のスタンダードで決められている項目を学修し、理解する。		
15	第5グループ犬種のスタンダード	5グループの代表犬種（ポメラニアン）の沿革・外貌・サイズ・かみ合わせ・体の各部位のスタンダードで決められている項目を学修し、理解する。		
16	第6グループ犬種のスタンダード	6グループの代表犬種（ビーグル）の沿革・外貌・サイズ・かみ合わせ・体の各部位のスタンダードで決められている項目を学修し、理解する。		
17	第7グループ犬種のスタンダード	7グループの代表犬種（ワイマナー）の沿革・外貌・サイズ・かみ合わせ・体の各部位のスタンダードで決められている項目を学修し、理解する。		
18	第8グループ犬種のスタンダード	8グループの代表犬種（ゴールデン・レトリバー）の沿革・外貌・サイズ・かみ合わせ・体の各部位のスタンダードで決められている項目を学修し、理解する。		
19	第9グループ犬種のスタンダード	9グループの代表犬種（プードル）の沿革・外貌・サイズ・かみ合わせ・体の各部位のスタンダードで決められている項目を理解する。		
20	第9グループ犬種のスタンダード	9グループの代表犬種（マルチーズ）の沿革・外貌・サイズ・かみ合わせ・体の各部位のスタンダードで決められている項目を理解する。		
21	第9グループ犬種のスタンダード	9グループの代表犬種（パピヨン、キャバリア）の沿革・外貌・サイズ・かみ合わせ・体の各部位のスタンダードで決められている項目を理解する。		
22	第10グループ犬種のスタンダード	10グループの代表犬種（ボルゾイ）の沿革・外貌・サイズ・かみ合わせ・体の各部位のスタンダードで決められている項目を理解する。		
23	グループのまとめ・小テスト	1グループから10グループの代表犬種に関してまとめの小テストを行い、間違えた個所を自ら調べて書き直すことにより、理解する。		
24	犬種図鑑作成①	1グループ・2グループから犬種を選び、スタンダードを記入する。選んだ犬種を図解し説明できるようにする。		
25	犬種図鑑作成②	3グループ・4グループから犬種を選び、スタンダードを記入する。選んだ犬種を図解し説明できるようにする。		
26	犬種図鑑作成③	5グループ・6グループから犬種を選び、スタンダードを記入する。選んだ犬種を図解し説明できるようにする。		
27	犬種図鑑作成④	7グループ・8グループから犬種を選び、スタンダードを記入する。選んだ犬種を図解し説明できるようにする。		
28	犬種図鑑作成⑤	9グループから犬種を選び、スタンダードを記入する。選んだ犬種を図解し説明できるようにする。		
29	犬種図鑑作成⑥	10グループから犬種を選び、スタンダードを記入する。選んだ犬種を図解し説明できるようにする。最終仕上げを行う。		
30	オリジナル犬種図鑑完成 展示	オリジナルで作成した犬種図鑑を展示。デザイン・理解度を重視した作品となる。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
最新犬種図鑑（インターズー）		期末試験 授業態度	70.0% 30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
グルーミング実習 I		ペット総合学科 トリマーコース/1年生	2020年/後期	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	180回	360単位時間	必須	藤田 恵理
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> ・90分以内に爪切り、クリッピング作業、ブラッシング、耳掃除、シャンプー、ドライイング、肢周りカットを終われるような知識・技術を身につける ・それぞれの体のパーツ毎の切り方を実際のモデル犬を使っての実践練習。 				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・90分以内に爪切り、クリッピング作業、ブラッシング、耳掃除、シャンプー、ドライイング、肢周りカットを終われるような知識・技術を身につける ・パーツ毎のカット練習を行っていき、最終的には全身のカットが出来る様にする。 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		トリマーとしてペットショップで勤務		
時間外に必要な学修				
自宅でのシザーリング練習				
日	テーマ	内 容		
1~3	最終模擬試験による各自の課題克服を踏まえたグルーミング実習 体バリカン、肢カット（バリカンラインぼかし）、部分カット	模擬試験で時間内に終わらなかった学生や作業に対して課題がある学生は、それを直すことを意識する。 肢のバリカンラインのぼかし作業 グルーミング犬種の部分カット		
4~9	時間短縮を意識したグルーミング 体バリカン、肢カット、グルーミング犬種の部分カット	トリマー3級合格を目指して作業時間の短縮（目標は90分以内に肢周りカット終了） 肢の形を四角柱で作る グルーミング犬種の部分カット		
10~12	時間短縮を目的としたグルーミング 肢カット、グルーミング犬種の部分カット シザーリング練習	昼休憩までに下準備を終わらせる 肢カットを四角柱でカットした後、角を落とし丸く仕上げていく（角を落としながらカットしても良い。自分のカットしやすい方法を見つける） グルーミング犬種の部分カット（60分以内）		
13~15	肢カット（肢バリがある場合は行う）、グルーミング犬種の部分カット シザーリング練習	他の学生は昼休憩までに下準備を終わらせる ※今後肢先のバリカンがある場合は行う。フットラインの徹底 肢カットを四角柱でカットした後、角を落とし丸く仕上げていく（角を落としながらカットしても良い。自分のカットしやすい方法を見つける） グルーミング犬種の部分カット（60分以内）		
16~18	肢カット①、グルーミング犬種の部分カット シザーリング練習	肢カットを1本終わらせる（50分以内） グルーミング犬種の部分カット 余裕のある学生はシザーリング練習も行う。		
19~21	肢カット②（2本） シザーリング練習	肢カットを2本終わらせる（120分以内） グルーミング犬種の部分カット（50分以内）		
22~24	肢カット（2本）、胸のカット①	肢カットを2本終わらせ（120分以内）、胸のカット（前肢に繋げる） グルーミング犬種の部分カット（40分以内）		
25~27	肢カット（2本）、胸のカット②	肢カットを2本終わらせ（100分以内）、胸のカット（前肢に繋げる）※角が残らないよう意識する グルーミング犬種の部分カット（40分以内）		

日	テ ー マ	内 容		
28～ 30	顔カットの手順、グルーミング犬種の部分カット	2年生が顔カットしながら、手順を覚えてもらう グルーミング犬種の部分カット（40分以内）		
31～ 33	顔カット（半分）	2年生に半分顔カットしてもらい、残り半分をカットする グルーミング犬種の部分カット（30分以内）		
34～ 36	顔カット（全て）	顔カットを1年生だけで行う グルーミング犬種の部分カット（30分以内）		
37～ 45	全身カット、顔カット、グルーミング犬種の部分カット	体バリカンを含め全身のカットを行う（肢は前後肢1本ずつ）（3時間以内目標） グルーミング犬種の部分カット（30分以内）		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
疑似毛（ウィッグ） ドッググルーミングマニュアル （ジャパンケネルクラブ）		期末試験 授業態度	70.0% 30.0%	

*1日4回(8単位時間)

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
問題行動学		ペット総合学科 トリマーコース トレーナーコース/1年	2020/後期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	小西 伴彦
授業の概要				
<p>今後トリマーとしての知識、技術の習得において重要な、動物の行動特に犬や猫の行動の基本を理解し、生活における問題となる行動の発現と、その行動の対処法、改善法、ひいては予防的な生活の提案ができる様々な事案を織り込みつつ講義をすすめる、いぬの扱い方のアドバイス、適正な飼養のアドバイスができる人材を育成すること、問題となる行動はどのように起こるか、どのような対処をすれば良いのかを理論的に説明できることを学修する。</p>				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・動物の行動学、学習理論に対する専門的な知識と用語の理解を深め、総合的に動物の扱い方の基本を身につけて、今後のアドバイスに役立てる知識を持った人材。 ・犬や猫の基本的行動、本能的行動特性を理解し、飼い主に対して分かりやすくアドバイスできる人材の育成。 ・ペットショップやサロンにおける補助的動作訓練（ハズバンダリートレーニング）の理解を深め、実際の現場で役立つ知識の習得。 ・生活における犬や猫が起こす問題となる行動の対処法、改善方法や予防的な生活提案のできる知識の習得と適切なアドバイスができる人材。 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		①犬の訓練施設を開業 ②動物病院にてしつけ教室を開催 ③ふくい動物愛護管理支援センターに従事		
時間外に必要な学修				
テキストの読み込み、講義でのノートの復習				
回	テーマ	内 容		
1	動物の問題行動に対する考え方	動物はなぜ問題行動を起こすのか、問題行動とはどのようなものなのかを学習する。		
2	犬種による問題点を考える	犬には多くの種類が存在し、それぞれの経緯について理解し、生得的な行動と問題点のつながり、生活における対処法を学修する。		
3	性質や性格による問題行動	動物の行動特性による問題点、性格による問題点をそれぞれ考え、行動と問題点の繋がり方を学修する。		
4	動物のストレスを考える	動物のストレスについての考え方、捉え方、個々の性格や行動特性の影響などを多角的に学修する。		
5	問題となる行動を記録する	問題となる行動はなぜ起こるのか、どのような環境で起こるのか、どのような状況で起こるのかなどを記録する方法とその考え方を学修する。		
6	目標を明確にしていくための教育方針と罰の概念	問題行動を対処するための犬への教育方針をどのように決めていくか、また罰についての考え方も学修する。		
7	問題行動予防のための方法1	問題行動に対する基本的な対処法のツールを、それぞれの影響と効果を学修する。		
8	問題行動予防のための方法2	問題行動に対する基本的な対処法のツールを、それぞれの影響と効果を学修する。		

回	テーマ	内 容		
9	問題行動トピック／トイレのしつけ方1	犬との生活の中で重要なトイレのしつけについて考え方、取り組み方、グッズの利用法などを学修する。		
10	問題行動トピック／トイレのしつけ方2	犬との生活の中で重要なトイレのしつけの実際の方法をディスカッションを交えながら進め、対処法を学修する。		
11	問題行動トピック／犬の吠える問題	犬が引き起こす問題の中で、吠える問題は多く寄せられる項目となるため、その考え方と対処法を学修する。		
12	問題行動トピック／犬の噛む問題	犬が引き起こす問題の中で、噛む問題は生活に深刻な影響を及ぼすことから、その考え方と対処法を学修する。		
13	問題行動トピック／その他	犬が引き起こす様々な問題点をディスカッションして、それぞれ出てきた問題点についての考え方と対処法を学修する。		
14	問題行動対策の総論	動物が引き起こす問題行動はどのようにして発現し、対応していけばいいのかを学修する。		
15	問題行動対策の総論に対する議論	問題行動対策の改善に向けて前回までの講義を踏まえて、学生とディスカッションし、様々な事柄について学修する。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
自作教材		期末試験 授業態度	50.0% 50.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
グルーミング理論 I		ペット総合学科 トリマーコース トレーナーコース/1年	2020/後期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	宮腰 隼人
授業の概要				
<p>・犬の扱い方を理解し、各道具の使用法・注意点を把握することで、グルーミング実習時に安全でスムーズな作業ができるようになる。また、グルーミングの目的・各作業の目的を学び、その必要性を理解する。</p> <p>・グルーミング作業時に起こりやすい事故について理解し、応急処置の方法を身につける。</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>・プードル、シーズー、マルチーズ、ポメラニアン等、スタンダードを理解した上で、各犬種のトリミング技法、カット手順を体得する。</p>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		トリマーとして、ペットショップに勤務。		
時間外に必要な学修				
授業の前後に予習復習をして、授業の習熟を図ること				
回	テーマ	内容		
1	犬体用語 美容用語	被毛に関する用語、グルーミングに関する用語を覚える。		
2	プードルについて① (スタンダードの理解)	沿革、毛色、サイズバラエティなどの基本を理解し、プードルという犬種を知る。		
3	プードルについて② (各クリップ名・理想体形)	ショー・クリップ名、公認ペット・クリップ名とカットの特徴を学ぶ。理想体形とともに、ハイオン・ドワーフについても理解する。		
4	トリマーの基本	トリマーの心得、グルーミングにおける犬の扱い方を理解し、グルーミングに関する基礎事項を学ぶ。		
5	各トリミング技法とその技法にあてはまる犬種について	グルーミング犬種について解説する。トリミング技法（シザーリング・スイニング・ブラッキング）を理解し、その技法にあてはまる犬種を知る。		
6	ケネル&ラム・クリップ①	プードルのベーシックなペット・クリップであるケネル&ラム・クリップのトリミング手順を理解する。どのようなクリップなのかを知るために、アウトラインを描く。各クリッピング基準を理解する。（肢・顔・尾）		
7	ケネル&ラム・クリップ②	フットライン・テールセット・背線・後躯のトリミング手順について理解する。		
8	ケネル&ラム・クリップ③	中躯・アンダーライン・肩・胸・前肢のトリミング手順について理解する。		
9	ケネル&ラム・クリップ④	頭部・耳・尾のトリミング基準について理解する。ケネル&ラム・クリップのアウトラインを描く。		
10	シーズー、マルチーズの サマーカット①	サマーカットとは？ ボディをクリッパーで仕上げるスタイルの基準を学ぶ。		

回	テ ー マ	内 容		
11	シーザー、マルチーズの サマーカット②	ボディ、顔カットの方法を学ぶ。		
12	ポメラニアン①	グルーミングを施す際の注意点、ポメラニアンのスタンダードなトリミングを理解する。		
13	ポメラニアン②	トリミングのバリエーションを知る。(柴カットなど)サマーカットによる弊害について理解する。		
14	テディ・ベアカット①	ボディ、四肢のトリミング手順を学ぶ。		
15	テディ・ベアカット②	顔・マズルの作り方を学ぶ。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
最新ドッググルーミングマニュアル (社団法人 ジャパンケネルクラブ) グルーミングの基礎 (株式会社 インターズー)		期末試験 授業態度	70.0% 30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
接客ロールプレイング		ペット総合学科 トリマーコース/1年	2020/後期	演習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	藤田 恵理
授業の概要				
受付の対応法を学習し、店舗でお客様に対応ができるようになる 2年次に行う当番の内容を出来るように反復練習を行う				
授業終了時の到達目標				
接客対応法を理解し実践お通じて習得 お客様の要望に合ったサービス、ペットの体を考慮したサービスの提案力の習得				
実務経験有無		実務経験内容		
有		トリマーとしてペットショップに勤務		
時間外に必要な学修				
各講義で実施した内容をノートや課題などを使用して予習・復習すること				
回	テーマ	内容		
1	接客の大切さについて 年間で学ぶことについて	1	年間を通しての目標の共有と事前課題について、今年度の授業の流れを説明をし提案型サービスが出来るようになるという目標を共有する。	
2	接客をするうえで大切なこと 挨拶について		接客するうえで常に心掛けることを考え、理解する。気持ちの良い挨拶を学び、実践を行い、明るく元気な挨拶でお客様をお迎え出来るよう学習する。	
3	トリミングカルテの重要性 受付の流れについて（新規・既存のお客様）		トリミングカルテの重要性を理解する。お客様の要望を聞き、ワンちゃんをお預かりするまでの流れを覚え、実践を行う。	
4	お返し対応の流れについて		お預かりしたワンちゃんのお返し、支払い、次回予約までの流れを覚え、実践を行う。	
5	確認テスト		多様なパターンを用意し、事前情報がない状態での理解度を確認する。苦手な点を明確にし、練習を行う。	
6	実践練習		確認テストで苦手なところ、出来なかったところを各自明確にし、実践練習を行うことで習得する。	
7	提案型接客について①		特殊なカット、皮膚に異常がある場合、毛玉やもつれがある場合、年齢などペットにあったサービスを提供できるよう学習する。	
8	提案型接客について②		お客様の希望と現在のペットの状況を比べながら受付を行う。お客様の完成イメージはあるが、今回のトリミングでは完成できない場合などの説明方法を学習する。	
9	怪我をさせてしまった場合、クレームが起きた場合について		怪我をさせてしまった場合の対応及び、お返し対応について学習し、起こしてしまった際に慌てずに対応出来るようにし、誠意をもって対応する。	
10	確認テスト		多様なパターンを用意し、事前情報がない状態での理解度を確認する。苦手な点を明確にし、練習を行う。	
11	実践練習		確認テストで苦手なところ、出来なかったところを各自明確にし、実践練習を行うことで習得する。	
12	お客様から信頼されるスタッフになるために①		これまで学習してきたことをもとに「信頼されるスタッフになるためにはどのようにしたらよいか」考え、理解する。（グループワーク）	
13	接客以外に大切なこと①		掃除、時間の約束も大切さを理解する。	

回	テ ー マ	内 容		
14	接客以外に大切なこと②	2年次に行う実践練習の説明と実演、実践を行い習得する。		
15	確認テスト	掃除で気を付けるポイント、当番の流れなどを確認し、出来なかったところを再確認し理解する。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
トリマーコース接客マニュアル		期末試験 授業態度	70% 30%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
グルーミング実習 I		ペット総合学科 看護コース/1年生	2020年/後期	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	60回	120単位時間	必須	藤田 恵理

授業の概要

1年前期に習得した犬の扱い方、道具の扱い方グルーミング方法の作業を反復練習を行うことにより確実に仕上げる事ができ、細かく時間を計り実習を進めていく。さらに、犬のグルーミング作業のみではなく、個々の犬にあった保定をしっかりとできるように学ぶ。

授業終了時の到達目標

グルーミングに必要な正しい犬の扱い方、正しい道具の扱い方を習得する。また、ベーシック作業時間を短時間で仕上げることができるようになり、犬に負担をかけないグルーミングの習得を目標とする。

実務経験有無 実務経験内容

有	トリマーとしてペットショップに勤務
---	-------------------

時間外に必要な学修

自宅でのシザーリング練習

日	テーマ	内容
1	時間短縮を意識したグルーミング作業 ブラッシング、コーミング作業強化	グルーミング犬種90分以内にグルーミングを終わらせる。 シャンプー前のブラッシング、コーミングをやり直しが ない状態に完成させる。
2	時間短縮を意識したグルーミング作業 爪切り足裏などのクリッパー作業作 業強化①	グルーミング犬種90分以内にグルーミングを終わらせる。 爪切り作業(やすりを含む)、足裏、肛門、腹のクリッ パー作業をやり直しがない状態に完成させる。
3	時間短縮を意識したグルーミング作業 爪切り足裏などのクリッパー作業作 業強化②	グルーミング犬種90分以内にグルーミングを終わらせる。 爪切り作業(やすりを含む)、足裏、肛門、腹のクリッ パー作業をやり直しがない状態に完成させる。
4	時間短縮を意識したグルーミング作業 耳掃除作業強化	グルーミング犬種90分以内にグルーミングを終わらせる。 耳掃除作業をやり直しがない状態に完成させる。
5	時間短縮を意識したグルーミング作業 ペイジング作業強化① グルーミング犬種の部分カット①	グルーミング犬種90分以内、トリミング犬種100分以内にグ ルーミングを終わらせる。ペイジング作業(肛門腺絞りを 含む)をやり直しがない状態に完成させる。お尻などの部 分カットを習得する。
6	時間短縮を意識したグルーミング作業 ペイジング作業強化② グルーミング犬種の部分カット②	グルーミング犬種90分以内、トリミング犬種100分以内にグ ルーミングを終わらせる。ペイジング作業(肛門腺絞りを 含む)をやり直しがない状態に完成させる。お尻などの部 分カットを習得する。
7	時間短縮を意識したグルーミング作業 ドライグ作業強化① グルーミング犬種の部分カット③	グルーミング犬種80分以内、トリミング犬種90分以内にグ ルーミングを終わらせる。ドライグ作業をやり直しがな い状態に完成させる。お尻などの部分カットを習得する。
8	時間短縮を意識したグルーミング作業 ドライグ作業強化① グルーミング犬種の部分カット④	グルーミング犬種80分以内、トリミング犬種90分以内にグ ルーミングを終わらせる。ドライグ作業をやり直しがな い状態に完成させる。お尻などの部分カットを習得する。

日	テーマ	内 容		
9	時間短縮を意識したグルーミング作業 グルーミング犬種の部分カット⑤	グルーミング犬種80分以内、トリミング犬種90分以内にグルーミングを終わらせる。ベーシック作業を直しがない状態に完成させる。お尻などの部分カットを習得する。		
10	時間短縮を意識したグルーミング作業 暴れる犬などの保定① グルーミング犬種の部分カット⑥	グルーミング犬種80分以内、トリミング犬種90分以内にグルーミングを終わらせる。暴れる犬のグルーミングを行えるようになる。(2人一組で行う。) お尻などの部分カットを習得する。		
11	時間短縮を意識したグルーミング作業 暴れる犬などの保定② グルーミング犬種の部分カット⑦	グルーミング犬種80分以内、トリミング犬種90分以内にグルーミングを終わらせる。暴れる犬暴れる犬のグルーミングを行えるようになる。(2人一組で行う。) お尻などの部分カットを習得する。		
12	技術チェック①	作業の完成度、時間配分、犬の扱い方(保定)などチェックする。		
13	技術チェック②	作業の完成度、時間配分、犬の扱い方(保定)などチェックする。		
14	グルーミング作業見直し①	技術チェックの結果をもとにグルーミング作業の改善を行う。		
15	グルーミング作業見直し②	技術チェックの結果をもとにグルーミング作業の改善を行う。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
疑似毛(ウィッグ)		実習・実技評価 授業態度	70.0% 30.0%	

*1日4回(8単位時間)

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物内科看護学実習Ⅱ		ペット総合学科 動物看護コース/1年	2020/後期	講義演習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	中村 武文
授業の概要				
内科診療の補助に必要な器具や道具の扱いに関する基礎知識と技術を学ぶ。採血・投薬・輸液・顕微鏡検査などについて、犬の扱い方も踏まえて理解する。				
授業終了時の到達目標				
シリンジ、各種注射針、輸液セット、顕微鏡の正しい扱い方および技術を修得している。 動物看護師が行う動物病院での診療補助に関する知識を身に付けることができる。 採血、投薬、顕微鏡検査における必要な道具の種類、使い方を修得している。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物看護師として、動物病院に勤務		
時間外に必要な学修				
各講義で実施した内容をノートなどを使用して復習すること。				
回	テーマ	内容		
1	シリンジ・注射針・輸液・留置針	シリンジ・針等の構造と各部位の名称、輸液の目的を知り、用途に応じた選択ができるよう基礎知識を理解する		
2	シリンジ・注射針 輸液・留置針	シリンジ・針・輸液ラインの準備と無菌操作、輸液ポンプの設定を実践し、手技を身に付ける		
3	投薬	薬剤の形状や内服薬・外用薬の種類を知り、投与方法及び注意点を理解する		
4	投薬	内服薬(錠剤・液剤)・外用薬(点眼薬)の投与方法を実践し、投薬手技を身に付ける		
5	採血保定	採血時に用いられる血管とその特徴及び採血保定の注意点を理解する		
6	採血保定	目的に応じた採血保定の方法を学び、負担の少ない正しい駆血ができるよう実践し、手技を身に付ける		
7	包帯法	包帯法の効果と様々な種類の包帯法を知り、それに使用する衛生材料の種類と使用方法を理解する		
8	包帯法	包帯法の手技、包帯装着時のモニタリング・観察・注意点到に留意して個々に合った包帯法を見に付ける		
9	調剤	各種薬剤の調剤法・薬用量の計算・電子天秤の扱いを実践し、調剤の手技を身に付ける		
10	眼科	眼の解剖生理の概要・眼科疾患・眼科検査に使用する器具と検査の流れについて理解する		
11	顕微鏡・検査(糞便)	顕微鏡の各部名称とメカニズムを理解する。糞便検査の目的と項目学び、正常と異常の判別を理解する。		
12	顕微鏡の扱い・臨床検査	顕微鏡の操作法・取り扱い方を身に付ける。各種糞便検査を実践し、結果の判別と手技を身に付ける		
13	検査(尿)	尿検査の目的と項目を学び、正常・異常の関連性を理解する。検査に使用する機器の操作・設定を理解する。		

回	テ ー マ	内 容		
14	検査（耳）	耳の検査の目的と項目を学び、検査項目と各疾患の関連性を理解する。		
15	臨床検査	各種尿検査・耳の検査を実践し、結果の判別と手技を身に付ける		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護実習テキスト(インターズー)		期末試験	70.0%	
動物看護学テキスト(ファームプレス)		態度点	30.0%	
犬と猫の応急処置(インターズー)				
輸液超入門(インターズー)				

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物病理学		ペット総合学科 動物看護コース/1年	2020/後期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	岡田 俊夫
授業の概要				
様々な疾病が組織や臓器にもたらす変化、その原因、発生機序、病態について学ぶ。病気の変遷、細胞や組織に生じる変化、退行性病変、進行性病変、循環障害、炎症、腫瘍、奇形などについて具体的に学ぶ。				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・病理解剖と病理組織学的検査の目的、意義について理解する。 ・細胞や組織に生じる変化、例えば変性、壊死、アポトーシス、過形成などについて理解する。 ・循環障害、例えば充血、うっ血、出血の原因と病態、血栓の成因、梗塞などを理解する。 ・炎症の定義と5大主徴、分類、発生機序などおよび腫瘍の定義、分類、原因などを理解する。 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		開拓協同組合連合会勤務 食品衛生監視事務所勤務 獣医師として動物病院に勤務 石川県畜産会に勤務 獣医師として動物病院を開業		
時間外に必要な学修				
各講義で実施した内容をノートなどを使用して復習する				
回	テーマ	内容		
1	病理解剖と病理組織学的検査の目的、意義	疾病診断の最前線である病理解剖（剖検）、基本的な病理組織学的検査の目的、意義を理解する。		
2	病理組織標本の作製法、病理組織学的検査の実施手順	一般的な病理組織標本の作製方法、目的に応じた特殊な固定法、標本作製、染色方法を理解する。		
3	変性と物質沈着、壊死とアポトーシス	細胞障害の形態学的変化、異常蛋白質の沈着症、組織の死（壊死）、細胞死（アポトーシス）を理解する。		
4	細胞増殖のメカニズム、再生と化生	細胞や組織の増殖を制御する因子、細胞増殖のメカニズム、組組織および器官の再生メカニズムを理解する。		
5	過形成と肥大、低形成と萎縮	ストレス、刺激に対する細胞障害、細胞の応答（適応、恒常性）を理解する。		
6	充血とうっ血	動脈性の血液が増加（充血）と静脈性の血液が増加（うっ血）の原因と病態を理解できる。		
7	出血の原因と病態	出血の定義、分類、影響、血液凝固、止血機構、出血性素因などを理解する。		
8	血栓の成因、播種性血管内凝固（DIC）の病態	血栓の性状による分類、血栓形成の条件、血栓の二次的変化と転帰およびDICの病態を理解する。		
9	虚血と梗塞、浮腫、水腫	虚血の原因による分類、梗塞の原因、種類と特徴および経過、水腫の発生要因と分類を理解する。		
10	ショックの原因と分類、病態	ショックの分類および病態生理、ショック臓器の病理を理解する。		
11	炎症の定義と5大主徴、炎症の分類と原因、特徴	炎症の定義と5大主徴（発赤、熱感、腫脹、疼痛、機能障害）、急性炎症と慢性炎症の原因と特徴を理解する。		
12	炎症に関与する細胞と化学伝達物質、炎症の経過と治療	各種炎症性細胞、各種炎症の仲介物質（ケミカルメディエーター）を理解する。		
13	腫瘍の定義と分類	細胞の増殖および分化の機構とそれらの異常、腫瘍の定義と種類を理解する。		

14	腫瘍の原因と発生機序、腫瘍の転移と進行、腫瘍と宿主の関係	腫瘍の原因と発生機序(突然変異説, 化学異常説)、腫瘍の転移の種類、宿主へ影響(局所, 全身的)を理解する。		
15	遺伝子・染色体異常、発生異常と奇形	先天異常の概念と分類を理解する。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物病理学総論 第3版(文永堂出版)		期末試験 小テスト 授業態度	40.0% 20.0% 40.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物形態機能学 I		ペット総合学科 動物看護コース/1年	2020/後期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	30回	60単位時間	必須	中村 武文
授業の概要				
動物の生命維持の仕組みを形態学・機能学・生化学の面から学び生命体としての動物を細胞、組織、臓器レベルの各段階で理解するとともに病的変化について学ぶ基盤を確立する				
授業終了後の到達目標				
動物体が担う様々な役割と関連する器官の全体像を掴むことができる 正常な動物の各部分の形態を知り機能を理解することで、動物の疾病や薬理作用など臨床現場に近い学問を学ぶための基礎を構築することができる。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物看護師として、動物病院に勤務		
時間外に必要な学修				
各講義で実施した内容をノートなどを使用して復習すること				
回	テーマ	学修内容		
1	形態機能学とは 生体の成り立ちと生命維持	動物の体の構成の基礎、動物の体の階層性について学び、恒常性(ホメオスタシス)について理解する		
2	細胞と体液	細胞の構造(核・細胞小器官・細胞膜)と機能について学び 体液の組成、拡散と浸透について理解する		
3	組織	上皮組織・筋組織・神経組織・結合組織の種類と分布について理解する		
4	皮膚①	動物が自ら防護するための外皮について、皮膚の組織構造・付属器について理解する		
5	皮膚②	被毛・爪・熱産生・熱拡散及び体温調節機構、高温・低温、恒温・変温について理解する		
6	皮膚③	代表的な皮膚疾患(内分泌性・アレルギー性・免疫介在性・感染性・その他)について理解する		
7	感覚器①	眼構造と付属器(眼瞼・結膜・涙器・輝板等)、視覚について理解する		
8	感覚器②	代表的な眼の疾患(局所・全体等)について理解する		
9	感覚器③	耳の構造(外・中・内耳)と聴覚、平衡覚について理解する		
10	感覚器④	代表的な耳の疾患(外耳炎・耳血腫等)について理解する		
11	感覚器⑤	嗅覚器と嗅覚、味覚器と味覚、代表的な疾患について理解する		
12	循環器①	心臓の解剖学的構造(位置と外形、内部構造)、刺激伝導系について理解する		
13	循環器②	血管系(動脈・静脈・毛細血管等)・血圧調節機構・リンパ管系について理解する		

回	テーマ	学修内容		
14	循環器③	代表的な循環器疾患(先天性・その他)について理解する		
15	まとめ	確認問題と解説 前期の内容を理解できているか自己確認を行う		
16	消化器①	口・歯・唾液腺・咽頭・食道の構造と機能について理解する		
17	消化器②	腹部消化管である小腸・大腸・盲腸の構造と機能について理解する		
18	消化器③	膵臓・肝臓・胆嚢の構造と機能について理解する		
19	消化器④	代表的な消化器疾患(消化器症状と疾患)について理解する		
20	呼吸器①	呼吸器の構造(上気・下気道・肺)について理解する		
21	呼吸器②	ガス交換・換気(呼吸のメカニズム)、代表的な呼吸器疾患について理解する		
22	泌尿器①	腎臓の解剖学構造と機能(糸球体・尿細管等)、排泄路の構造、尿の貯蔵と排尿、体液の調節について理解する		
23	泌尿器②	代表的な泌尿器疾患(下部尿路疾患・尿石症等)について理解する		
24	内分泌①	主要な内分泌器官・ホルモン・ホルモンの生理作用について理解する		
25	内分泌②	代表的な内分泌疾患(甲状腺・副腎)について理解する		
26	神経①	神経細胞・中枢神経・末梢神経・脳、興奮の伝達(反射・疼痛)について理解する		
27	神経②	代表的な神経系疾患(椎間板ヘルニア等)について理解する		
28	血液①	血液の成分・血球の種類(赤血球・白血球数等)について理解する		
29	血液②	血液型・血液凝固、代表的な血液・造血器疾患について理解する		
30	まとめ	確認問題と解説 後期の内容が理解できているか自己確認を行う		
教科書・教材		成績評価の方法	評価率	その他
動物看護の教科書第2巻(緑書房) 動物看護コアテキスト2 (ファームプレス) 犬と猫のからだのしくみ(インターズー) 伴侶動物解剖生理学(緑書房)		期末試験 授業態度	70.0% 30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物形態機能学実習		ペット総合学科 動物看護コース/1年	2020/後期	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	30回	60単位時間	必須	中村 武文
授業の概要				
動物の身体の形態と機能を、骨格標本や臓器模型をスケッチしたアトラス作成・歯の模型作成・骨格標本作成などを通して体得する。				
授業終了後の到達目標				
犬の身体に触れたとき、今自分が触れているところには何があるのかが立体的にわかるようになる。犬や猫の身体を構成する骨、筋、内臓器官の位置と相関関係が立体的に理解できるようになる。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物看護師として、動物病院に勤務		
時間外に必要な学修				
各講義で実施した内容をノートなどを使用して復習すること				
回	テーマ	学修内容		
1	生体の成り立ち 体の表面・細胞	体の方向と用語・細胞の構造と名称・組織の種類と名称について表や図の作成を通して理解する		
2	骨の基本構造①	骨の基本構造・骨の分類・骨の役割について、表や図の作成を通して理解する		
3	骨の基本構造②	犬の骨格標本に触れながら全身の骨格を確認し、図を作成することにより、名称と部位を理解する		
4	骨の基本構造③	代表的な骨の名称と特徴を確認し、スケッチをして理解する		
5	骨の基本構造④	関節の構造を理解し、代表的な関節の名称とつくり・疾患を学び、図に記入をして理解する		
6	皮膚	皮膚・皮膚付属器についての図を作成し、構造や名称を理解する		
7	まとめ	確認問題と解答・解説 生体の成り立ちから骨格までの理解度の確認を行う		
8	歯①	歯の構造・種類・役割・歯式について学び、図の作成を通して理解する		
9	歯②	犬の歯の模型を作成し、立体的に構造を理解する		
10	歯③	犬の歯の模型を作成し、立体的に構造を理解する		
11	歯④	犬の歯の模型を作成し、立体的に構造を理解する		
12	歯⑤	犬の歯の模型を作成し、立体的に構造を理解する		
13	感覚器	眼・耳・鼻の構造と名称について、図を作成して理解する		

回	テ ー マ	学修内容		
14	循環器	心臓・血管・リンパ管系の構造と名称について、図を作成して理解する		
15	まとめ	確認問題と解答・解説 制作物の提出と確認を行う		
16	消化管	消化管の構造と名称について図を作成し、主要な臓器のスケッチを通して位置や順序を理解する		
17	筋骨格系①	筋肉の種類・つくり・伸縮・エネルギー生産について学び、図を作成して理解する		
18	筋骨格系②	筋肉・関節の観察、骨格標本作成前の下準備を行い、立体的に構造を理解する		
19	筋骨格系③	筋肉・関節の観察、骨格標本作成前の下準備を行い、立体的に構造を理解する		
20	筋骨格系④	骨格標本作成(組み立て・接着等)を通して、関節の作りや骨の向きを理解する		
21	筋骨格系⑤	骨格標本作成(組み立て・接着等)を通して、関節の作りや骨の向きを理解する		
22	呼吸器	呼吸器の構造・名称について、図の作成を通して理解する		
23	泌尿器	泌尿器の構造・名称について図を作成し、局部のスケッチをすることにより理解を深める		
24	内分泌	内分泌線とホルモンの一覧表を作成し、主要な内分泌器官について図を作成し、分類を行いながら理解する		
25	神経	神経の概略図・脳のスケッチ・主要な神経系についての図を作成して理解する		
26	血液①	血球の分化・成熟、血球の分類についてのスケッチを作成して理解する		
27	血液②	動画で各血球の働きを理解する		
28	内臓器官の位置	胸腔内・腹腔内の内臓をスケッチし、位置と名称を理解する		
29	製本と復習	作成した図・スケッチ・表を、表紙や裏表紙と共に、1冊の本に仕上げ、内容を再確認する		
30	まとめ	確認問題と解答・解説 制作物の提出と確認を行う		
教科書・教材		成績評価の方法	評価率	その他
動物看護の教科書第2巻(緑書房) 動物看護コアテキスト2 (ファームプレス) 犬と猫のからだのしくみ(インターズー) 伴侶動物解剖生理学(緑書房)		期末試験 態度点	70.0% 30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物福祉・倫理		ペット総合学科 動物看護コース/1年	2020/後期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	清水 宗春
授業の概要				
動物愛護や動物福祉(アニマルウェルフェア)、およびその基礎となる生命倫理の考え方について学ぶ。獣医療、動物愛護、動物福祉、社会奉仕などの分野に動物看護師として貢献するうえで必要な基本理念としての動物福祉の考え方を学ぶ。				
授業終了後の到達目標				
動物生命倫理の基本概念について理解できる 動物福祉の定義とその理論的基盤について理解できる 動物福祉向上の実践と社会との関わりに関する基本知識を理解できる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		横浜市役所栄生福祉局 東京都福祉保健局(動物管理事務局) 帝京大学アニマルサイエンス大学獣医学科 非常勤講師 日本獣医生命大学獣医学科 非常勤講師 石川県保健所動物管理センター業務		
時間外に必要な学修				
各講義で実施した内容をノートなどを使用して復習すること				
回	テーマ	学修内容		
1	動物観の歴史的変遷	国や宗教による動物観の違いと動物の取り扱いへの影響について理解する		
2	生命倫理の概念	生命倫理の考え方、生命倫理と獣医療の関わりについて理解する		
3	動物福祉の概念①	動物福祉の考え方、5つの自由(five freedom)について学ぶ		
4	動物福祉の概念②	近代及び現代の動物愛護運動、日本における動物愛護と世界における動物福祉について理解する		
5	動物福祉の概念③	動物の権利と動物福祉思想、動物福祉に関する法と行政の仕組みの概要を学ぶ		
6	伴侶動物の福祉①	伴侶動物の適正飼育と福祉的問題、動物保護活動の現状と課題について理解する		
7	伴侶動物の福祉②	飼育放棄や殺処分問題、動物虐待の定義と現状、それぞれの対策について理解する		
8	伴侶動物の福祉③	飼育動物の災害時の対応について学ぶ		
9	伴侶動物の福祉④ グループワーク	野外に行く飼育猫の福祉を項目ごとに評価し、各々の動物福祉の考えを聴き、自分の考えを伝える		
10	学校飼育動物の福祉	動物福祉教育の意義、学校飼育動物に対して行うべき福祉的なこととは何かを理解する		
11	産業動物の福祉	産業動物における福祉的問題、国際的な福祉基準、福祉を向上させるための具体的方法について学ぶ		
12	実験動物の福祉①	実験動物における福祉的問題、3Rの概念と具体的方法について学ぶ		
13	実験動物の福祉②	国内外における動物実験の現状、身近に関係する動物実験について調べレポートを作成する		

回	テーマ	学修内容		
14	展示動物及び使役動物の福祉	展示動物・使役動物の福祉的問題、展示動物に対する環境エンリッチメントの種類と内容について学ぶ		
15	まとめ	確認問題を解き、解答解説を行ってこれまでの内容の理解度を把握し、総復習をする。		
教科書・教材		成績評価の方法	評価率	その他
動物福祉学(インターズー) 獣医倫理・福祉学(緑書房) 動物看護コアテキスト1(ファームプレス)		期末試験 授業態度	70.0% 30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
人間動物関係学		ペット総合学科 動物看護コース/1年	2020/後期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	清水 宗春
授業の概要				
動物看護師として、動物が人間社会で果たしている役割やその背景と歴史について学び、人と動物の関係を心理学的および社会的な側面から理解すると共に、動物の飼育と利用の現状、動物との協働、動物を介在させた活動の社会的効果の在り方、実際の動物介在活動における実施方法と適性評価を理解した上で、現在私たちの社会で活躍している使役動物について歴史と変遷、福祉を学び、人と動物の福祉とその関係を学ぶことを目的とする。				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・動物の収集、飼育、利用の歴史を学んでいく中で、文学、芸術における動物の表現方法について理解することで、人と動物の関係は不可分で多面的であることを説明できる。 ・人と動物の協働の種類と動物を介在させることで人への心理的、生理的、身体的、社会的効果を理解し説明できる。 ・アニマルセラピーとはどういうものなのか、動物介在活動、療法、教育という3つの定義を理解し、安全に運用管理すること、施設の適性評価の方法などを学ぶ。 ・使役動物の歴史と福祉、補助犬の定義、育成、適性等を学び、施設や社会への受け入れなどを学びながら、使役動物の福祉について考えることで、私たちへの精神的な恩恵がどのようなものかを理解する。 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		横浜市役所栄生福祉局 東京都福祉保健局（動物管理事務局） 帝京大学アニマルサイエンス大学獣医学科 非常勤講師 日本獣医生命大学獣医学科 非常勤講師 石川県保健所動物管理センター業務		
時間外に必要な学修				
テキストの読み込み、講義でのノートの復習				
回	テーマ	内容		
1	人と動物の関わり①世界における人と動物の関係の歴史	人と動物の関係の歴史と動物利用の歴史、動物の存在観、日本における動物との関係の歴史を学ぶ。		
2	人と動物の関わり②文学、芸術における動物の在り方と西洋における関わり	日本における動物表現は、感情に訴え「心」を表し、動物観形成に影響を与えていることを学ぶ。		
3	人と動物の関わり③日本の動物文化と日欧比較	犬の進化と人との関係と猫と人との関係を理解し、犬や猫がどのように学習し人と接してくのかを学修する。		
4	動物の飼育と利用の現状、動物飼育、動物利用の現状と協働	動物を利用する効果を理解し、その変遷と現状を把握して協働の在り方を学修する。		
5	人の生活に貢献する動物の役割、動物介在介入の歴史と健康面とその効果	トレーニングのいろいろなタイプの理解と、古典的条件づけとオペラント条件付けによる学習理論を理解し、犬や猫をどのようにトレーニングしたり、接したりすればよいか		
6	人に貢献する動物の役割	健康面に影響を及ぼす動物の役割とその効果を学修する。		
7	動物介在活動、動物介在療法、動物介在教育について	3つの動物介在介入活動について理解し、その活動定義と内容を学修する。		
8	動物介在介入活動の歴史	動物介在介入活動の歴史とその効果を学修する。		
9	動物介在介入活動を効果的に実施する①	どのような動物を用いるべきかの定義と適性評価の方法を学修する		
10	動物介在介入活動を効果的に実施する②	脳のメカニズムと精神構造、学習の発達段階との関連と行動がどのように結びついているのかを学修する。		

回	テ ー マ	内 容		
11	動物介在介入活動における動物のストレス	動物を使った活動を行う際の、動物へのストレスとその解消方法を学修する。		
12	使役動物について	使役動物の種類と歴史、使役動物の福祉についてと使役の種類を学修し、使役動物の概要を理解する。		
13	身体障害者補助犬について	身体障害者補助犬の定義とその歴史、身体障害者補助犬法について学修する。		
14	補助犬の育成	盲導犬の育成、介助犬の育成、聴導犬の育成とその過程と適性について学修する。		
15	その他の使役犬について	日本における公的な使役犬について、その他の使役犬について学修する。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
応用動物看護学 1 (インターズー)		期末試験 授業態度	70.0% 30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物臨床栄養学		ペット総合学科 動物看護コース/1年	2020/後期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	横山 歩
授業の概要				
動物看護師に必要な栄養の知識（強制給餌の方法、疾病ごとの適切な栄養管理、疾病と栄養成分の関わり合い、栄養管理による効果 など）を学修する				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・強制給餌の種類や方法を理解し、説明できる ・栄養補助・管理が必要な主要疾患の病態を理解し、栄養管理技術の理論を説明できる 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物病院で動物看護師として勤務（現在に至る）		
時間外に必要な学修				
各講義で実施した内容をノートなどを使用して復習する				
回	テーマ	内容		
1	強制給餌法	入院動物に対しておこなう経管・静脈による栄養管理の方法を理解する		
2	疾患ごとの栄養管理（減量）①	犬猫においてBCSの評価法を学び、減量の具体的な方法、減量に必要な療法食について理解する		
3	疾患ごとの栄養管理（減量）②	ダイエットプログラムの組み立て方を理解し、目標体重やエネルギー要求量の算定を行う		
4	疾患ごとの栄養管理（皮膚）①	犬猫におけるアレルギー性皮膚炎（アトピー性皮膚炎、食物アレルギー）の病態について理解する		
5	疾患ごとの栄養管理（皮膚）②	犬猫のアレルギー性皮膚炎に対する栄養管理の方法、療法食について理解する		
6	疾患ごとの栄養管理（心臓）①	犬猫に多い心疾患（弁膜症、心筋症など）の病態について理解する		
7	疾患ごとの栄養管理（心臓）②	犬猫に多い心疾患（弁膜症、心筋症など）に対する栄養管理の方法や療法食について理解する		
8	疾患ごとの栄養管理（腎臓）①	犬猫に多い腎疾患（慢性・急性腎不全など）の病態について理解する		
9	疾患ごとの栄養管理（腎臓）②	慢性腎疾患（腎不全など）に対する栄養管理の方法と療法食について理解する		
10	疾患ごとの栄養管理（肝臓）	犬猫に多い肝疾患（門脈体循環シャントなど）を学び、疾患に対する栄養管理の方法と療法食について理解する		
11	疾患ごとの栄養管理（泌尿器）①	犬猫に多い泌尿器疾患（下部尿路疾患など）の病態を学び、尿石症の種類について理解する		
12	疾患ごとの栄養管理（泌尿器）②	犬猫に多い泌尿器疾患（下部尿路疾患など）に対する栄養管理の方法、療法食について理解する		
13	疾患ごとの栄養管理（消化器）①	消化器疾患（下痢・嘔吐など）の病態について理解する		

14	疾患ごとの栄養管理（消化器）②	消化器疾患（下痢・嘔吐など）に対する栄養管理の方法と療法食について理解する		
15	疾患ごとの栄養管理（膵臓）	糖尿病に対する栄養管理の方法と療法食について理解する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・動物看護学教育標準カリキュラム準拠 専門分野 動物栄養管理学（interzoo） ・動物看護師養成モデルカリキュラム専修 学校準拠 動物栄養学（interzoo） ・犬と猫の栄養学（緑書房） 		<ul style="list-style-type: none"> 期末試験 授業態度 	<ul style="list-style-type: none"> 70.0% 30.0% 	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物感染症学		ペット総合学科 動物看護コース/1年	2020/後期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	45回	90単位時間	必須	中山 小百合
授業の概要				
微生物や寄生虫の分類、生物学的特性、伝播様式や発病のメカニズムについて学び、検査や診断、衛生管理、予防・治療法など感染症対策の基礎を修得する。感染防御に関わる免疫学の基礎についても学ぶ。				
授業終了時の到達目標				
主にイヌやネコの感染症に関する基礎知識が身に付き、予防と看護に活かすことができる。修得した知識から、飼い主に感染症予防の大切さを伝えることができる。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		薬品会社にて研究員として勤務		
時間外に必要な学修				
各講義で実施した内容をノートなどを使用して復習すること				
回	テーマ	内容		
1	感染症とは①	感染・発症・感染症の定義、感染症の経過、感染症の種類について理解する		
2	感染症とは②	感染の成立、感染成立・不成立の力関係、感染経路、感染防御について理解する		
3	病原微生物 定義・細菌	微生物の定義、細菌の構造・分類・増殖・培養・治療について理解する 特殊な細菌について学ぶ		
4	病原微生物 真菌・ウイルス	真菌の構造・形態・検査法・治療・予防、ウイルスの性状・構造・分類などの基礎知識を身に付ける		
5	病原微生物 プリオン・寄生虫	プリオンの概要・寄生虫の分類・生活環・感染経路などの基礎知識を理解する		
6	内部寄生虫 原虫類①	病原性のある主な原虫感染症について、各原虫の形態・生活環・感染経路・症状・治療・予防法について学ぶ		
7	内部寄生虫 原虫類②	病原性のある主な原虫感染症について、各原虫の形態・生活環・感染経路・症状・治療・予防法について学ぶ		
8	内部寄生虫 線虫類①	各線虫の成虫や虫卵の形態・生活環・感染経路・症状・治療・予防法について学ぶ		
9	内部寄生虫 線虫類②	各線虫の成虫や虫卵の形態・生活環・感染経路・症状・治療・予防法について学ぶ		
10	内部寄生虫 線虫類③	各線虫の成虫や虫卵の形態・生活環・感染経路・症状・治療・予防法について学ぶ		

回	テ ー マ	内 容		
1 1	内部寄生虫 吸虫類①	各吸虫の成虫や虫卵の形態・生活環・感染経路・症状・治療・予防法について学ぶ		
1 2	内部寄生虫 条虫類②	各条虫の成虫や虫卵の形態・生活環・感染経路・症状・治療・予防法について学ぶ		
1 3	内部寄生虫 条虫類③	各条虫の成虫や虫卵の形態・生活環・感染経路・症状・治療・予防法について学ぶ		
1 4	内部寄生虫の検査方法 虫体・虫卵の取り扱いと処理方法	検査方法の種類と目的、診断・判別について理解する 検体の管理・処理方法について正しい知識を身に付ける		
1 6~ 1 7	外部寄生虫 昆虫類①	シラミ・ハジラミ類、ノミ類、双翅類の成虫の形態・生活環・感染経路・症状・治療・予防法について学ぶ		
1 8~ 1 9	外部寄生虫 昆虫類②	マダニ・ヒゼンダニ・ツツガムシ等のダニ類の形態・生活環・感染経路・症状・治療・予防法について学ぶ		
2 0~ 2 1	犬・猫の代表的な感染症①	細菌・マイコプラズマの感染経路・症状・治療・予防について学ぶ		
2 2~ 2 3	犬・猫の代表的な感染症②	クラミジア・リケッチア・真菌の感染経路・症状・治療・予防について学ぶ		
2 4~ 2 5	犬・猫の代表的な感染症③	犬のウイルス感染症の感染経路・症状・治療・予防について学ぶ		
2 6~ 2 7	犬・猫の代表的な感染症④	猫のウイルス感染症の感染経路・症状・治療・予防について学ぶ		
2 8~ 2 9	犬・猫の代表的な感染症⑤	感染症の分類を行い、一覧表にまとめる		
3 0~ 3 1	まとめ	確認問題と解説 外部寄生虫と代表的な感染症の理解度を把握する		
3 2~ 3 3	人獣共通感染症	代表的なズーノーシスの動物から人への感染様式と、予防対策について学ぶ		
3 4~ 3 5	産業・実験・野生動物の代表的な感染症	主に家畜の代表的な感染症の種類・感染源・症状について学ぶ		
3 6~ 3 7	免疫 アレルギー	免疫の種類・抗体抗原・自己免疫性疾患、アレルギーの種類等について学ぶ		
3 8~ 3 9	予防ワクチン①	ワクチンとは何か、生・不活化ワクチン、必要性和効果・コア・ノンコアワクチン・犬のワクチンについて学ぶ		
4 0~ 4 1	予防ワクチン②	猫のワクチン・ワクチンの副作用・ワクチネーションプログラムについて学ぶ		
4 2~ 4 3	衛生管理 消毒と滅菌	感染症対策・防疫対策・消毒滅菌の目的や方法等について学ぶ		
4 4~ 4 5	まとめ	確認問題と解説 ズーノーシス・その他動物の感染症・予防と衛生の基礎知識が身に付いているかの確認		
教科書・教材		成績評価の方法	評価率	授業時間外の学修
新健康管理学 よく診る犬の疾患・猫の疾患 動物看護コアテキスト3 (ファームプレス) 小動物衛生管理 (ファームプレス) ヒトと動物の寄生虫鑑別アトラス 動物寄生虫学 (インターズー)		期末試験 授業態度	70.0% 30.0%	各講義で実施した内容をノートなどを使用して復習すること

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
統一試験対策		ペット総合学科 動物看護コース/1年	2020/後期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	中村 武文
授業の概要				
<p>「動物看護師統一認定試験」とは動物看護師の知識・技術の高位平準化を図るとともに、将来的な公的資格制度に繋げる目的で設立された、現在最も標準的な動物看護師資格となっている。この授業では過去問や予想問題を解き、形態学などの基礎知識から疾患学などの応用知識を総合的に修得し、出題傾向の把握と設問に対する理解力、適切な解答を導くための知識を修得する。</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>時間配分や点数目標を立てながら学習し、自己学習を継続することができる 動物看護学の基礎分野を把握し、強化をすることができる 模擬試験を行うことで、本番への対応力が身に付く</p>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物看護師として、動物病院に勤務		
時間外に必要な学修				
各講義で実施した内容をノートなどを使用して復習すること				
回	テーマ		内容	
1	動物看護師統一認定試験の概要理解 基礎動物看護学Ⅰ 一般問題①		動物看護師統一認定試験の設立経緯、試験時期、試験構成、試験分野の説明を行い、試験概要を理解する。 形態機能学・病理学の一般問題を解き、解答解説をノートにまとめて理解する	
2	基礎動物看護学Ⅰ 一般問題②		薬理学、動物遺伝学、動物行動学、放射線学、免疫学、微生物学の一般問題を解き、解答解説をノートにまとめて理解する	
3	基礎動物看護学Ⅰ 一般問題③ 理解度確認問題		寄生虫学、公衆衛生学、毒性学、繁殖学、野生動物学の一般問題を解き、解答解説をノートにまとめて理解する 基礎動物看護学Ⅰの一般問題を試験形式で解き、理解度の確認、復習を行う	
4	基礎動物看護学Ⅰ 復習 基礎動物看護学Ⅱ 一般問題①		基礎動物看護学Ⅰ理解度確認問題の復習を行う 動物看護の基礎概念・職業倫理、動物福祉・関連法規の一般問題を解き、解答解説をノートにまとめて理解する	
5	基礎動物看護学Ⅱ 一般問題② 一般問題③		動物看護の展開、共通の基礎看護技術、診療に伴う動物看護技術の一般問題を解き、解答解説をノートにまとめて理解する	
6	基礎動物看護学Ⅱ 理解度確認問題 復習		基礎動物看護学Ⅱの一般問題を試験形式で解き、理解度の確認、復習を行う	
7	基礎動物看護学Ⅰ・Ⅱ 実地問題① 実地問題②		基礎動物看護学Ⅰ・Ⅱの実地問題を解き、解答解説をノートにまとめて理解する	
8	応用動物看護学Ⅰ 一般問題① 一般問題②		受付業務から動物栄養学、救命救急時の動物看護からシニアの看護までの一般問題を解き、解答解説をノートにまとめて理解する	
9	応用動物看護学Ⅰ 理解度確認問題 復習		応用動物看護学Ⅰの一般問題を試験形式で解き、理解度の確認、復習を行う	
10	応用動物看護学Ⅱ 一般問題① 一般問題②		内科系疾患から呼吸器疾患、脳・神経疾患から耳鼻咽喉疾患までの一般問題を解き、解答解説をノートにまとめて理解する	

回	テーマ	内容		
11	応用動物看護学Ⅱ 理解度確認問題 復習	応用動物看護学Ⅱの一般問題を試験形式で解き、理解度の確認、復習を行う		
12	応用動物看護学Ⅰ・Ⅱ 実地問題① 実地問題②	応用動物看護学Ⅰ・Ⅱの実地問題を解き、解答解説をノートにまとめて理解する		
13	過去問題模擬試験① 一般問題・実地問題	2012年度過去問題で模擬試験を行い、現段階での実力を把握する（一般問題、実地問題）		
14	模擬試験復習	2012年度過去問題の復習を行う		
15	模擬試験復習	不正解の問題で、再度試験を行い理解度を確認する 再試験の復習を行う		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
完全対策問題集(インターズー) 完全攻略!問題&解説集(緑書房)		期末試験 授業態度	70.0% 30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
グルーミング実習 I		ペット総合学科 トレーナーコース/1年生	2020年/後期	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	120回	240単位時間	必須	藤田 恵理
授業の概要				
1年前期に習得した犬の扱い方、道具の扱い方グルーミング方法の作業を反復練習を行うことにより確実に仕上げることができ、細かく時間を計り実習を進めていく。さらに、犬のグルーミング作業のみではなく、個々の犬にあった保定をしっかりとできるように学ぶ。				
授業終了時の到達目標				
グルーミングに必要な正しい犬の扱い方、正しい道具の扱い方を習得する。また、ベーシック作業時間を短時間で仕上げることができるようになり、犬に負担をかけないグルーミングの習得を目標とする。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		トリマーとしてペットショップに勤務		
時間外に必要な学修				
自宅でのシザーリング練習				
日	テーマ	内 容		
1~2	時間短縮を意識したグルーミング作業 ブラッシング、コーミング作業強化	グルーミング犬種90を分以内に終わらせる。シャンプー前のブラッシング、コーミングをやり直しが無い状態に完成させる。		
3~4	時間短縮を意識したグルーミング作業 爪切り作業強化	グルーミング犬種90を分以内に終わらせる。爪切り作業（やすりを含む）をやり直しが無い状態に完成させる。		
5~6	時間短縮を意識したグルーミング作業 足裏などのクリッパー作業強化	グルーミング犬種90を分以内に終わらせる。足裏、肛門、腹のクリッパー作業をやり直しが無い状態に完成させる。		
7~8	時間短縮を意識したグルーミング作業 耳掃除作業強化	グルーミング犬種90を分以内に終わらせる。耳掃除作業をやり直しが無い状態に完成させる。		
9~10	時間短縮を意識したグルーミング作業 ペイジング作業強化 グルーミング犬種の部分カット①	グルーミング犬種80分以内、トリミング犬種90分以内にグルーミングを終わらせる。ペイジング作業（肛門腺絞りを含む）をやり直しが無い状態に完成させる。お尻などの部分カットを習得する。		
11~12	時間短縮を意識したグルーミング作業 ドライグ作業強化 グルーミング犬種の部分カット②	グルーミング犬種80分以内、トリミング犬種90分以内にグルーミングを終わらせる。ドライグ作業をやり直しが無い状態に完成させる。お尻などの部分カットを習得する。		
13~14	時間短縮を意識したグルーミング作業 足回りカット作業強化 グルーミング犬種の部分カット③	グルーミング犬種80分以内、トリミング犬種90分以内にグルーミングを終わらせる。足回り作業をやり直しが無い状態に完成させる。お尻などの部分カットを習得する。		
15~16	時間短縮を意識したグルーミング作業 グルーミング犬種の部分カット④	グルーミング犬種80分以内、トリミング犬種90分以内にグルーミングを終わらせる。ベーシック作業を直しが無い状態に完成させる。お尻などの部分カットを習得する。		

日	テーマ	内 容		
17~ 18	時間短縮を意識したグルーミング作業 暴れる犬などの保定① グルーミング犬種の部分カット⑤	グルーミング犬種70分以内、トリミング犬種80分以内にグルーミングを終わらせる。暴れる犬のグルーミングを行えるようになる。(2人一組で行う。) お尻などの部分カットを習得する。		
19~ 20	時間短縮を意識したグルーミング作業 暴れる犬などの保定② グルーミング犬種の部分カット⑥	グルーミング犬種70分以内、トリミング犬種80分以内にグルーミングを終わらせる。暴れる犬のグルーミングを行えるようになる。(2人一組で行う。) お尻などの部分カットを習得する。		
21~ 22	時間短縮を意識したグルーミング作業 グルーミング犬種の部分カット⑦	グルーミング犬種70分以内、トリミング犬種80分以内にグルーミングを終わらせる。お尻などの部分カットを習得する。		
23~ 24	技術チェック①	作業の完成度、時間配分、犬の扱い方(保定)などチェックする。		
25~ 26	技術チェック②	作業の完成度、時間配分、犬の扱い方(保定)などチェックする。		
27~ 28	グルーミング作業見直し①	技術チェックの結果をもとにグルーミング作業の改善を行う。		
29~ 30	グルーミング作業見直し②	技術チェックの結果をもとにグルーミング作業の改善を行う。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
疑似毛(ウィッグ)		実習・実技評価 授業態度	70.0% 30.0%	

*1日4回(8単位時間)

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
トレーニング実習		ペット総合学科 トレーナーコース/1年	2020/後期	講義/実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	60回	120単位時間	必須	小西伴彦
授業の概要				
犬のしつけの重要性の理解とともに実際に犬をトレーニングする技術を身につけるための理論を理解し、トレーニングのプランニング、顧客への接し方を含むアドバイス方法などを理解し、いぬを扱い、適正な飼養をアドバイスできる人材を育成すること、問題となる行動はどのように起こるか、どのような対処をすれば良いのかを理論的に説明できることを学習し、顧客へのアドバイスができることを理解し習得する。				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・行動学の理解として各専門用語の意味と活用方法を理解する ・犬の生得的な行動と習得的な行動の理解する ・犬の学習プロセスを系統的に理解する ・犬との生活の中で起こりうる問題点を探り、その根源を理解する ・しつけを実際に行う際のスモールステップの手順を理解する ・しつけ教室を開く際のカテゴリーとプログラム作成の手順を理解する 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		①犬の訓練施設を開業 ②動物病院にてしつけ教室を開催 ③ふくい動物愛護管理支援センターに従事		
時間外に必要な学修				
各講義で実施した内容をノートなどを使用して復習すること				
日	テーマ	内 容		
1	犬のトレーニングの進め方1	犬のトレーニングを実施することで、犬の学習がどのように進むのかを、様々なプランを提示してプログラムの決め方をディスカッションを交えて学修する。		
2	犬のトレーニングの進め方2	犬のトレーニングを行う際の、プログラムを決めて実施するための方法をディスカッションする。		
3	犬のトレーニングのデモンストレーション	基本トレーニングの進め方をデモンストレーションを交えながらレクチャーし、学習を効率よくすすめるための方法を学修する。		
4	基本トレーニングの準備1	犬のトレーニングを行う際の準備項目を決めて、実際に準備を行いその行程の重要性を理解学修する。		
5	基本トレーニングの準備2	犬のトレーニングを行う際の準備項目を決めて、実際に準備を行いその行程の重要性を理解学修する。		
6	基本トレーニングsection1	犬のトレーニングの最初の段階をすすめる際に、犬の性格や行動特性を把握、学習を進めていくステップを確認しながら進める。		

日	テ ー マ	内 容		
7	基本トレーニングsection2	犬の性格や行動特性を理解しながら、基本行動の座る、伏せる、初期段階の待つという項目を犬に学習させる。		
8	基本トレーニングsection3	犬の性格や行動特性を理解しながら、基本行動の座る、伏せる、初期段階の待つという項目の習熟レベルを確認しながら、中期段階の待つという項目を犬に学習させる。		
9	基本トレーニングsection4	犬の性格や行動特性を理解しながら、基本行動の座る、伏せる、中期段階の待つという項目の習熟レベルを確認しながら、後期段階の待つという項目を犬に学習させる。		
10	基本トレーニングsection5	犬の性格や行動特性を理解しながら、基本行動の座る、伏せる、後期段階の待つという項目の習熟レベルを確認しながら、招呼、刺激反応という項目を犬に学習させる。		
11	基本トレーニングsection6	犬の性格や行動特性を理解しながら、基本行動の座る、伏せる、待つ、招呼、刺激反応という項目の習熟レベル確認しながら落ち着いた行動を教えるという項目を犬に学習させる。		
12	基本トレーニングsection7	犬の性格や行動特性を理解しながら、基本行動の座る、伏せる、待つ、招呼、刺激反応という項目の習熟レベル確認しながら、刺激反応への対応を行いながら落ち着いた行動を教えるという項目を犬に学習させる。		
13	基本トレーニングAllSection	犬のトレーニングの基本項目を全て行い、改善点等を考察する。		
14	基本トレーニング試験	基本トレーニングの項目を犬とともに実施し、習熟度を考察する。		
15	基本トレーニング試験総評	基本トレーニング試験を終えて、伸ばしていく点、改善すべき点などをディスカッションしていく。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
犬のしつけ学(インターズー)		期末試験 授業態度	70.0% 30.0%	

*1日4回(8単位時間)

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
繁殖学Ⅱ		ペット総合学科 トレーナーコース/1年	2020/後期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	西川 大吾
授業の概要				
繁殖を学ぶ心構え、血統書の意義、犬の発情と交配、出産、子犬の飼育と管理、猫の発情と交配、及び、遺伝、犬猫の遺伝性疾患、動物愛護管理法（繁殖業を行うにあたり必要な法律）を学修する。				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・繁殖の心構え、血統書の意義が説明できるようになる。 ・犬の繁殖（発情サイクル、交配、妊娠期間の特徴と管理、出産）、及び哺乳期の子犬の健康管理が説明できるようになる。 ・猫の繁殖（発情サイクル、交配）が説明できるようになる。 ・遺伝学の基礎、交配の種類、犬と猫の遺伝性疾患が説明できるようになる。 ・動物愛護管理法（繁殖業に必要な法律のポイント）が説明できるようになる。 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		ブリーダー繁殖・生体販売業を開業		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	繁殖を学ぶ心構え	繁殖とはなにか、ペットショップが行う繁殖、ブリーダーの規制、不妊と去勢を学修する。		
2	血統書の意義	血統書とはなにか、血統書発行団体、繁殖における血統書の意義を学修する。		
3	犬の発情と交配①	犬の発情生理学（犬の性成熟期、メスの発情周期）を学修する。		
4	犬の発情と交配②	犬の交配の手順（健康診断とワクチン、交配適期とスミア検査、交配相手の選択）、犬の妊娠と出産（妊娠期間）を学修する。		
5	犬の発情と交配③	犬の妊娠と出産（出産の準備、出産の流れ、出産の補助）を学修する。		
6	犬の発情と交配④、猫の発情と交配	犬の妊娠と出産（仮死状態で出産の子犬、へその緒の処理）、猫の繁殖生理（猫の性成熟期、メスの発情周期）、猫の交配の手順（健康診断とワクチン、交配相手の選択）を学修する。		
7	遺伝①	犬と猫の遺伝様式（遺伝学の基礎知識）を学修する。		

回	テ ー マ	内 容		
8	遺伝②	犬と猫の遺伝様式（交配の種類）、犬の遺伝性疾患を学修する。		
9	遺伝③	犬と猫の遺伝性疾患を学修する。		
10	子犬の飼育と管理①	哺乳期の子犬の管理（離乳までの飼養管理、人の手で子犬を育てる）を学修する。		
11	子犬の飼育と管理②	哺乳期の子犬の管理（離乳後の飼養管理）を学修する。		
12	子犬の飼育と管理③	子犬に行う日常の手入れ、消毒薬の特徴と注意を学修する。		
13	動物愛護管理法①	動物愛護管理法（基本原則、あらし、飼い主の責務、動物の飼養及び、保管等に関する基準、周辺生活環境の保全、動物取扱業者の規制）を学修する。		
14	動物愛護管理法②	動物愛護管理法（犬猫等販売業者、犬猫健康安全計画）を学修する。		
15	動物愛護管理法③、復習、テスト対策	動物愛護管理法（対面説明{子犬の管理方法等}）を学修する。 復習、テスト対策		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・KBG独自スライド ・DVD「これだけは覚えておきたいワンちゃんとの暮らし方」ZPK		期末試験 授業態度	70.0% 30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
接客ロールプレイング		ペット総合学科 トレーナーコース/1年	2020/後期	演習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	村牧 瑞希
授業の概要				
ペットショップやしつけ教室での電話対応、受付の対応方法を学習し、店舗でお客様に対応出来るようにする。				
授業終了時の到達目標				
従業員の立場からの接客対応法を理解し、実践を通じてスキルを習得する。 お客様の要望に沿って、ペットショップおよびしつけ教室で関わる、犬猫・小動物等の特性や性格などのタイプに応じた提案型サービスができる能力を習得する。				
実務経験有無		実務経験内容		
無				
時間外に必要な学修				
実習で実施した内容をノートや課題などを使用して予習・復習すること				
回	テーマ	内容		
1	オリエンテーション 1年間で学ぶことについて	年間を通しての目標の共有と事前課題について、今年度の授業の流れを説明をし提案型サービスが出来るようになるという目標を共有する。		
2	挨拶・話し方・言葉遣い・お辞儀の 角度・身だしなみ	接客で一番初めにお客様と取り合うコミュニケーションの挨拶の意味を学習する。丁寧・謙譲・尊敬の使い分けを理解する。		
3	挨拶・話し方・言葉遣い・お辞儀の 角度・身だしなみ	教員が実演を行い、質疑応答の後、学生二人一組で練習をし受付の対応方法を学習する。		
4	しつけの三ヶ条	・人より先に挨拶をする・呼ばれたら「はい」と返事をする・私物を整理整頓して保管するを率先して実践し、全人格を高め、人間力をあげていく。		
5	電話対応	教務が電話予約対応の実演を行い、質疑応答の後、学生二人一組で練習を行い対応方法を学習する。		
6	電話対応	前回とは別のパターン（お客様の質問、別の犬が苦手など）で電話対応練習を行い実際に起こりうる状況にも対応できるように学習する。		
7	ホテル電話予約小テスト	小テストを行い理解度を確認する。聞き忘れやパターン別にわからない箇所を復習する。質疑応答を行い、不明点や不安な箇所、言い回しを学習し、実践に臨めるようにする。		
8	トレーニング・受け取りの流れについて	教務がトレーニング受付対応の実演を行い、質疑応答の後、学生二人一組で練習をし受付の対応方法を学習する。		
9	トレーニング・受け取りの流れについて	前回とは別のパターンで対応練習を行い実際に起こりうる状況にも対応できるように学習する。		

回	テ ー マ	内 容		
10	お返し対応の流れについて	お返しの際にトレーニングの成果を説明、お預かり中の変化を飼い主様に分かるようにお伝えする。教務がお返しの対応の実演を行う。		
11	お返し対応の流れについて	教務がお返しの実演を行い、質疑応答の後、学生二人一組で練習をし、対応方法を学習する。		
12	お客様（クレーム）対応方法	お預かり中に起こった問題に関する説明、また様々なクレームに対応できる方法を学習して実演する。		
13	ロープレ実習復習	これまで学んだ電話対応・トレーニング受付の接客対応を電話対応から受付、お返しまで通して実践形式で行い、聞き忘れなどない様に復習する。		
14	ロープレ実習復習	これまで学んだ電話対応・トレーニング受付の接客対応を電話対応から受付、お返しまで通して実践形式で行い、聞き忘れなどない様に復習する。		
15	後期期末テスト対策	テスト対策課題を行い、間違えた箇所を復習し、実践で行えるように学習する。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
接客マニュアル参照		期末試験 授業態度	70% 30%	